

VDRH-9000 / VDRH-9000EX

本体操作説明書

(Ver. 3. 1. 0)

株式会社 オンテック

改訂履歴

改定日	改訂番号	改訂ページ	改訂内容
2009/11/-	1.0.0		VDRH-9000_Ver2.20 統合マニュアル(11 月改訂版)とする
2009/11/-	2.0.0		VDRH-9000EX_Ver3.20 統合マニュアル(11 月改訂版)とする
2009/12/04	3.0.0		改定番号 1.0.0 と 2.0.0 を統一し、新規作成。 VDRH-700 シリーズ用と構成を統一。
2010/02/05	3.1.0	P14 P15 P28 P32 P34	Ver. 3.30 に対応 「ADMIN MENU の表示方法」を修正 「2)REC モード設定」に注釈を追加 「FS NO SDI INPUT」メニューを修正 「JOG MAX SPEED」を削除し、「JOG SETTING」を追加 「JOG MOVING AVERAGE」を削除

～目次～

1. 電源投入前の準備	7
2. 電源投入	7
3. 収録開始	8
4. 収録停止	8
5. 再生 / STILL(一時停止) / 停止	9
6. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)	10
7. Variable 再生.....	10
8. フレーム送り・戻し	11
9. 追っかけ再生	11
10. 録画しながら別のシーンを再生	12
11. エラーメッセージのクリア	12
12. LCD表示の切り替え	13
13. 強制リブート	13
14. 本体メニュー操作	14
1.) メニューの表示方法.....	14
2.) ADMIN MENU の表示方法.....	14
3.) 選択操作について.....	14
4.) 主なメニュー設定とその操作.....	15
1) REF 設定	15
2) REC モード設定	15
3) タイムコード設定.....	15
4) HD-OSD 表示設定	16
5) SYSTEM PHASE の設定	16
6) コンプレス.....	16
7) FORMAT.....	16
8) Cue Up TC の検索方法の変更	17
9) 422 からの STOP 動作の設定	17
5.) USER MENU 1.....	18
5.) - 1 USER MENU - SYSTEM.....	18
5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE.....	19
5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1.....	19
5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 2.....	20
5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 3.....	20
5.) - 1. - 5 USER MENU - SYSTEM1 - IP ADDRESS.....	21
5.) - 1. - 6 USER MENU - SYSTEM1 - MONITOR OUTPUT.....	21
5.) - 1. - 7 USER MENU - SYSTEM1 - SYNC TYPE.....	22
5.) - 2 USER MENU - AUDIO.....	23
5.) - 2. - 1 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH.....	23
5.) - 2. - 2 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL.....	24

5.) - 2. - 3	USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B.....	24
5.) - 2. - 4	USER MENU - AUDIO - SLOW MUTE.....	25
5.) - 2. - 5	USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND.....	25
5.) - 3	USER MENU - REC MODE.....	26
5.) - 3. - 1	USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME.....	26
5.) - 3. - 2	USER MENU - REC MODE - REC TYPE.....	27
5.) - 3. - 3	USER MENU - REC MODE - RS422 REC STOP.....	27
5.) - 3. - 4	USER MENU - REC MODE - FS NO SDI INPUT.....	28
5.) - 4	USER MENU -PB MODE 1.....	29
5.) - 4. - 1	USER MENU - PB MODE 1 - FF/REW MAX SPEED.....	29
5.) - 4. - 2	USER MENU - PB MODE 1 - PLAY TYPE 1.....	30
5.) - 4. - 3	USER MENU - PB MODE 1 - PLAY TYPE 2.....	30
5.) - 4. - 4	USER MENU - PB MODE 1 - SYNC PLAY.....	31
5.) - 4. - 5	USER MENU - PB MODE 1 - SYSTEM PHASE.....	31
5.) - 4. - 6	USER MENU - PB MODE 1 - RS422 PB STOP.....	32
5.) - 4. - 7	USER MENU - PB MODE 1 - JOG SETTING.....	32
5.) - 5	USER MENU1 - PB MODE 2.....	33
5.) - 5. - 1	USER MENU - PB MODE 2 - SHUTTLE MAX SPEED.....	33
5.) - 5. - 2	USER MENU - PB MODE 2 - RS422 SCENE JUMP.....	34
5.) - 6	USER MENU - DISK.....	35
5.) - 6. - 1	USER MENU - DISK - COMPRESS.....	35
5.) - 6. - 2	USER MENU - DISK - DELETE ALL.....	36
5.) - 6. - 3	USER MENU - DISK - DELETE SELECT.....	36
5.) - 6. - 4	USER MENU - DISK - FORMAT.....	37
5.) - 7	USER MENU - TIME CODE.....	38
5.) - 7. - 1	USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME.....	38
5.) - 7. - 2	USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME.....	39
5.) - 7. - 3	USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE.....	39
5.) - 7. - 4	USER MENU - TIME CODE - SELECTION ON EE.....	40
6.)	ADMIN MENU.....	40
6.) - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1.....	41
6.) - 1. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME.....	41
6.) - 1. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS.....	42
6.) - 1. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DI.....	42
6.) - 1. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DO.....	43
6.) - 1. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1.....	44
6.) - 1. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1.....	44
6.) - 1. - 7	ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 2.....	45
6.) - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2.....	45
6.) - 2. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM2 - PASSWORD.....	46
6.) - 2. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SAVE SETTING.....	46

6.) - 2. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM2 - LOAD SETTING.....	47
6.) - 2. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT.....	47
6.) - 2. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG.....	48
6.) - 2. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG.....	48
6.) - 2. - 7	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION.....	49
6.) - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3.....	49
6.) - 3. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM3 - VIDEO TYPE.....	50
6.) - 3. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG.....	50
6.) - 3. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE.....	51
6.) - 3. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD.....	51
6.) - 3. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM3 - RECOVERY SETTING.....	52
6.) - 3. - 6	ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN.....	52
6.) - 4	ADMIN MENU - MODE.....	53
6.) - 4. - 1	ADMIN MENU - MODE - CUEUP SCENE.....	53
6.) - 5	ADMIN MENU - DISK.....	54
6.) - 5. - 1	ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE.....	54
6.) - 5. - 2	ADMIN MENU - DISK - RECOVER SCENE.....	55

1. 電源投入前の準備

- AC 電源を接続して下さい。
- HD-SDI 入力信号を接続して下さい。
- BB 同期信号を接続して下さい。


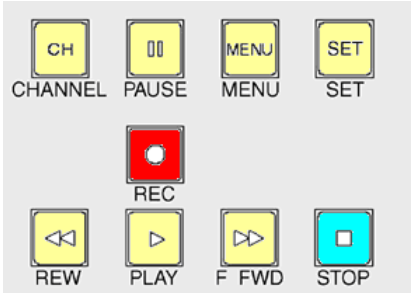

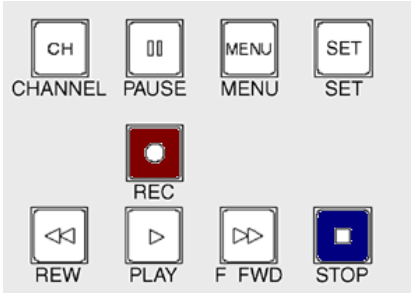
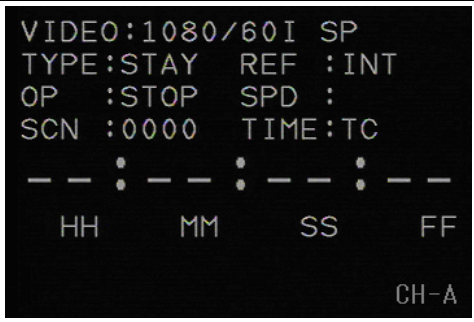
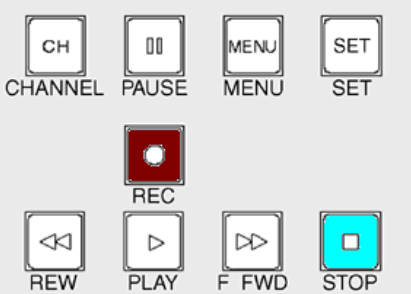
VDRH-9000 には、FS 機能は搭載していません。
 BB 同期で使用する場合は、同期した映像を入力して下さい。
 非同期入力を使用する場合は、SDI 同期で使用してください。
 BB 同期ではご使用になれません。
 VDRH-9000EX は、FS 機能が搭載されています。

※アプリケーション PC の接続については、それぞれの資料をご参照下さい。

2. 電源投入

- ① 背面パネル POWER スイッチとフロントの POWER スイッチを ON にします。

○LCD 画面に次のように表示されます。

起動状態の表示推移	
フロント LCD 画面 (NTSC)	フロントパネルの操作ボタン
 <p>[オープニングメッセージ]</p>	 <p>フロントパネルの LED が全て点灯します</p>
 <p>[初期化中画面]</p>	 <p>しばらく処理が進むと、フロントパネルが全て消灯します。</p>
 <p>[起動完了/EE 画面]</p>	 <p>STOP ボタンの LED が点灯した状態になります。</p>

※画面は一部合成です。

○この状態で、INHIBIT ボタンを消灯させれば操作が可能になります。

3. 収録開始

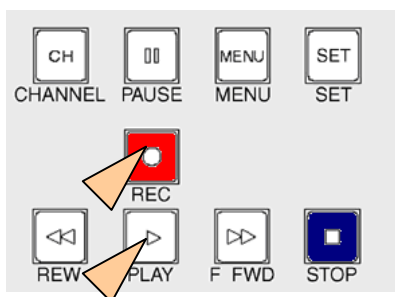
●収録を開始します。収録は、CH-A のみで実行可能な操作です。

- ① CH ボタンを押して消灯状態にします。これで CH-A が選択されています。
(起動直後は、この状態です。)



← CH-A の表示になっています。

- ② REC ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押すと収録状態になります。

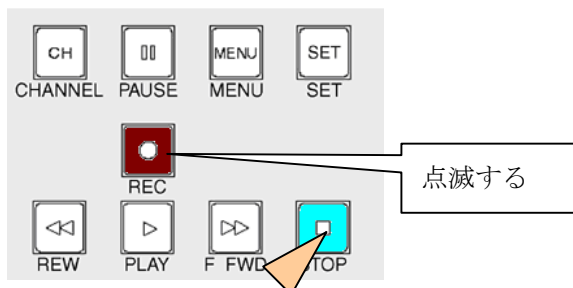


○収録中は、REC ボタンが点灯します。

4. 収録停止

●収録を停止します。

- ① 収録開始時と同様に、CH ボタンを消灯させ CH-A を選択します。
② STOP ボタンを押します。



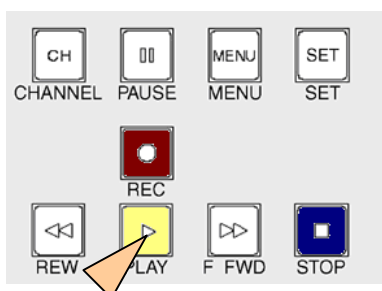
○REC LED が点滅後消灯し、STOP ボタンが点灯します。

○LCD のシーン番号が 1 つ増えます。

5. 再生 / STILL(一時停止) / 停止

●再生をします。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

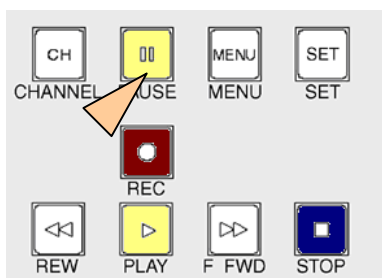
- ① CH ボタンを押して、再生させたい CH に切り替えます。(CH ボタン消灯で CH-A、点灯で CH-B)
- ② PLAY ボタンを押します。



○PLAY ボタンが点灯します。

●再生を一時停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

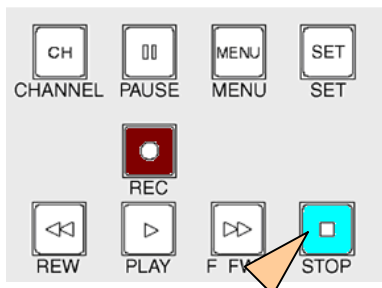
- ① PAUSE ボタンを押します。



○PAUSE ボタンが点灯して、再生が一時停止します。この状態で PLAY を押すと、再び、再生を始めます。

●再生を停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

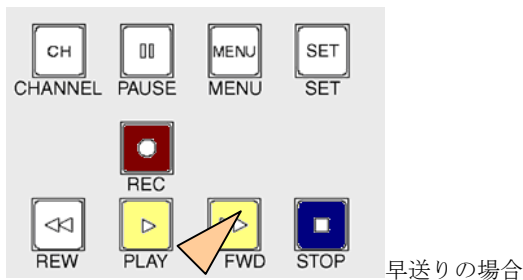
- ① STOP ボタンを押します。(STILL 状態からも同様です。)



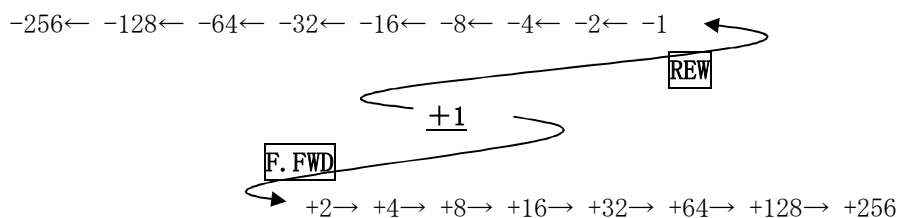
○PLAY ボタンが消灯し、STOP ボタンが点灯します。

6. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)

- ① PLAY 中に、F. FWD/REW ボタンを押すと早送り/巻き戻しができます



○それぞれの操作により、



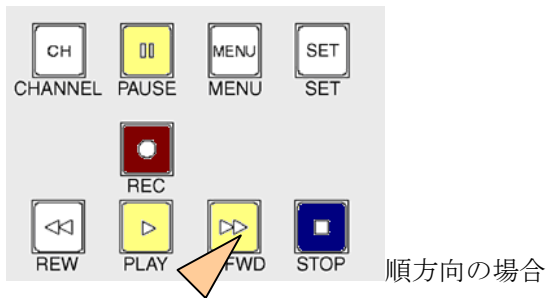
と、再生速度が変化します。

(逆方向には、推移できません。一度、PLAY 状態にして、再度、任意の速度まで操作して下さい。)

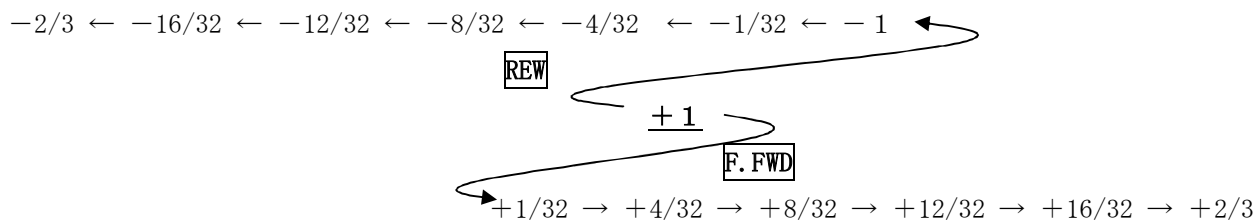
7. Variable 再生

- STILL 状態から、Variable 再生が出来ます。

- ① STILL 中に、順方向の場合 VAR+ボタンを押します。 逆方向の場合 VAR-ボタンを押します。



○それぞれの操作により、



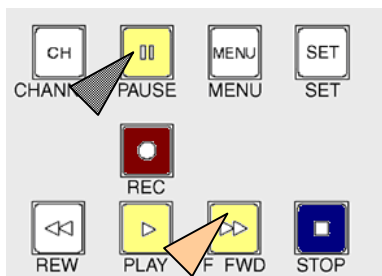
と、再生速度が変化します。

(逆方向には、推移できません。一度、STILL 状態にして、再度、任意の速度まで操作して下さい。)

8. フレーム送り・戻し

●再生停止状態(STILL)からコマ送り（フレーム送り）ができます。

- ① STILL 状態にします。
- ② PAUSE ボタンを押しながら、F.FWD ボタンで順方向、REW ボタンで逆方向にコマ送りします。

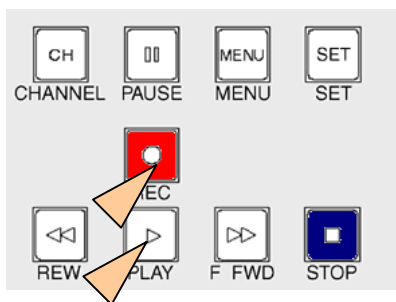


フレーム送りの場合

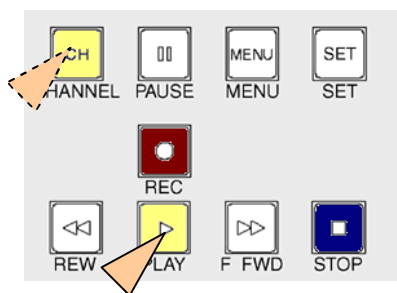
9. 追っかけ再生

●録画中の素材を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替え(CH ボタンを押して点灯させる)、PLAY ボタンを押します。



CH-A



CH-B

補足) 収録を開始した時に、他のシーンを再生していた場合

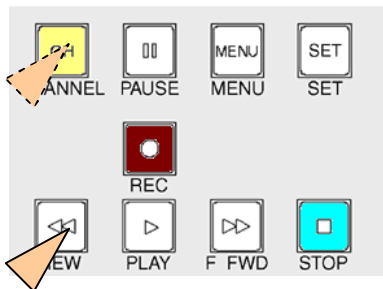
再生を停止した後に、シーンを選択する必要があります。

CH-B 選択・再生停止状態で F.FWD ボタンをおして、LCD の SCENE 表示が “REC” になるまで押して下さい。

10. 録画しながら別のシーンを再生

●収録中に、収録しているシーン以外を再生します。

- ① CH-A を選択して、録画を開始します。
- ② CH-B に切り替えます。(CH ボタンを押し点灯させる)、
- ③ REW ボタンを押します。



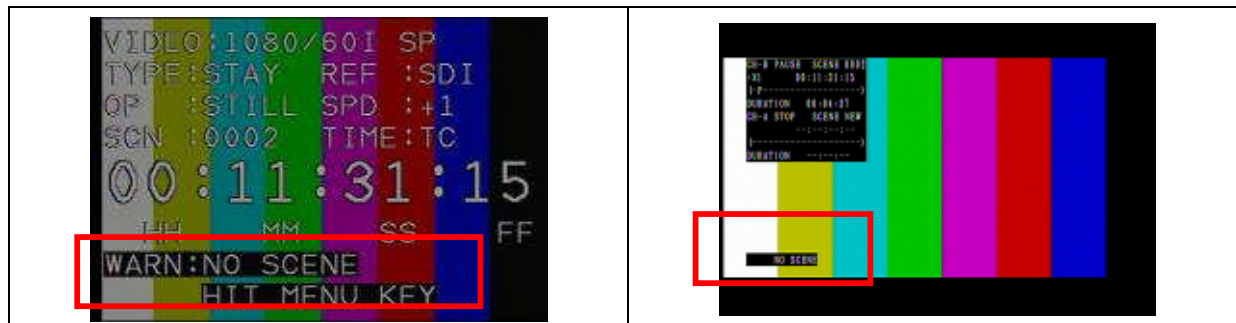
○LCD のシーン No. が戻ります。(戻しすぎた場合は、F. FWD ボタンを押します。)

- ④ PLAY ボタンを押します。
- 選択されたシーンが再生されます。

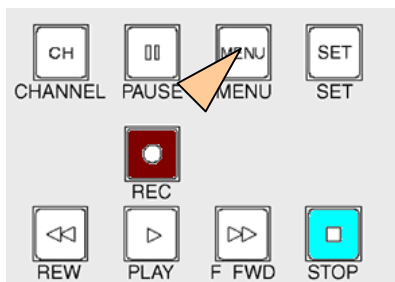
11. エラーメッセージのクリア

●本体で発生したエラーメッセージをクリアします。

○VDRH-9000 本体でエラーが発生した場合、LCD か HD-SDI MONI Out に、エラーメッセージが表示されます。



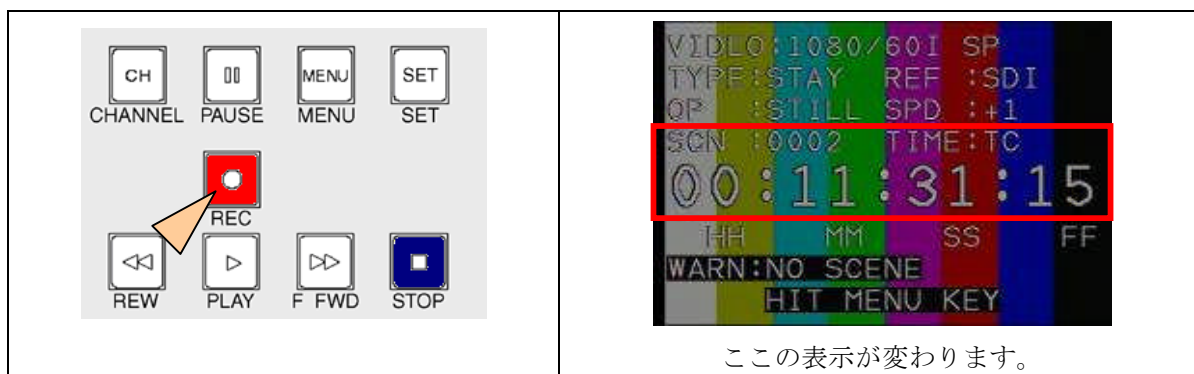
MENU ボタンを押します。



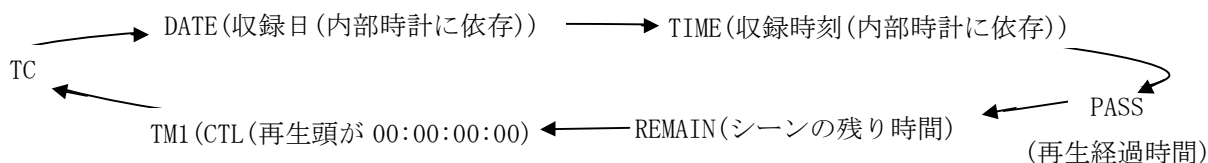
○複数のエラーが同時に発生している、一つをクリアすると、再度、メッセージが表示されます。

12. LCD表示の切り替え

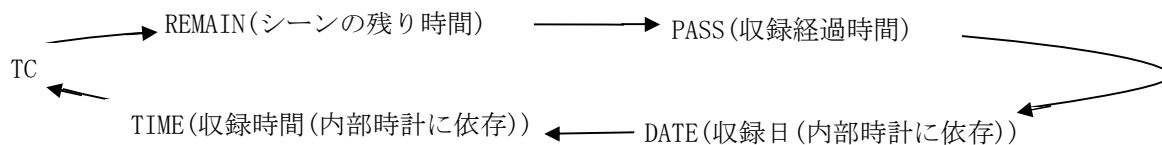
●本体LCDの表示をFULLにしている場合、ディスクの残量や再生リメインなどを確認することが出来ます。



再生中の場合：再生中に REC ボタンを押す。



収録中の場合：収録中に Ch-A 選択

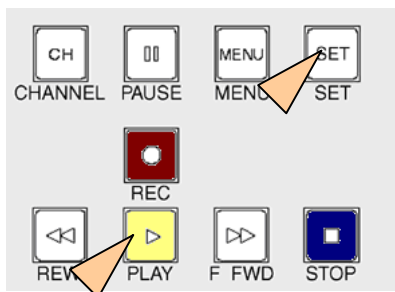


上記のサイクルで順に表示が切り替わります。

13. 強制リブート

●再生側で送出映像に異常があった場合、強制リブートによりデコーダーのリセットをかけます。

① 再生中に、SET ボタン+PLAY ボタンを押します。



○再生側で強制リブートがかかり、送出映像が1～2秒乱れます。

○リブートが完了すると、そのまま再生を続けます。

1 4. 本体メニュー操作



※画面は一部合成です

1.) メニューの表示方法

KEY INHIBIT が解除された状態で、MENU ボタン を押すとメニューモードになります。

※MENU モードに入ると、基本動作に関する操作が全て不能になります。

○USER MENU => ユーザーで設定する内容です。

○ADMIN MENU => システム構築に関するメニューです。

○個体のシリアル番号が表示されます。

2.) ADMIN MENU の表示方法

「ADMIN MENU⇒SYSTEM3⇒ALWAYS ADMIN」を“OFF”に変更した状態で電源を切ってしまうと、次回以降の起動時には、ADMIN MENU が表示されません。

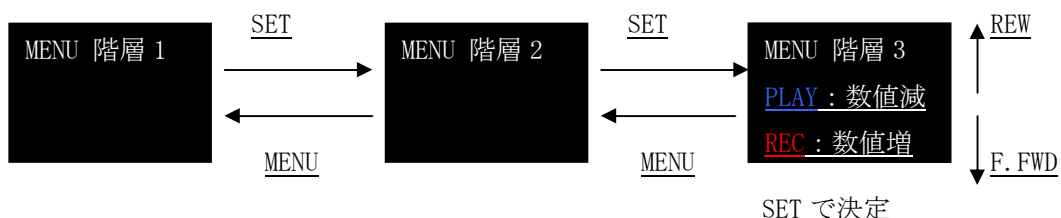
ADMIN MENU を呼び出すには、フロントパネルの任意の **3つのキーを押したまま、本体を起動し**、起動が完了するまで押し続けて下さい。

ADMIN MENU を呼び出して本体を起動した場合、本体を再起動するまで、非表示にすることは出来ません。

3.) 選択操作について

●プロンプトの下(もしくは左)移動は F.FWD キー、上(もしくは右)移動は REW キー 選択したモードに入るのは SET キー、上の階層に戻るのは、MENU キーで行います。最下層での決定は SET キーで行います。

数値の増減設定のあるメニューでは、REC キーで数値増、PLAY キーで数値減します。



●メニューモードを抜けるには、MENU の TOP 画面で MENU ボタンを押します。

●PLAY 及び REC 動作中には、変更できないメニューや表示されないメニューがあります。

4.) 主なメニュー設定とその操作

1) REF 設定

REF 信号を選択します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒SYNC TYPE」から設定して下さい。

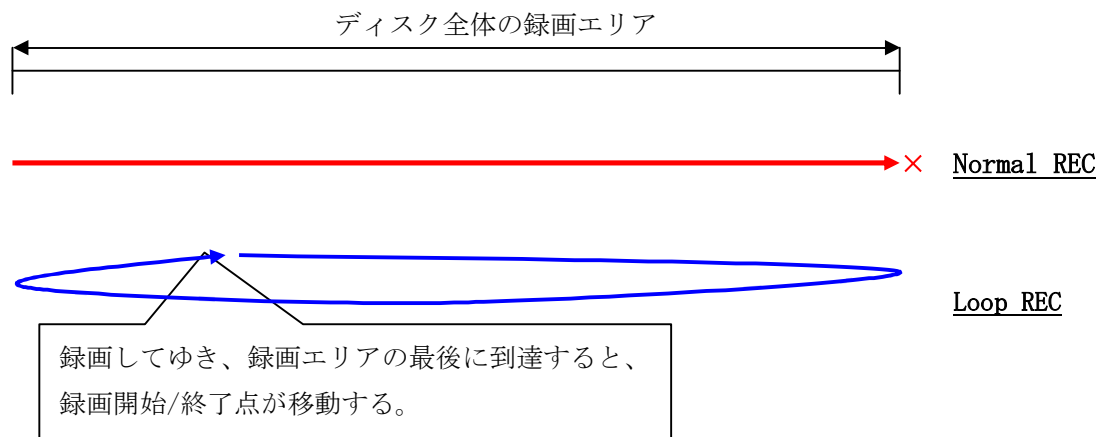
2) REC モード設定

VDRH シリーズでは、収録モードを Normal REC と Loop REC のどちらかを選択できます。

Normal REC とは、ディスクの容量がいっぱいになると収録を停止するモードです。

Loop REC とは、任意の時間※分を録画して一杯まで記録した後は、古いものから上書きしてゆく収録方法です。

※ディスクの制限容量以上の時間は、設定できません。



「USER MENU⇒REC MODE⇒REC TYPE」から選択できます。

※収録シーンが一つの場合のイメージです。先に収録されたシーンが存在する場合は、残り時間分しか記録されません。

※VDRH-9000EX の場合、ディスク残量が 24 時間以上ある場合でも、24 時間以上のシーンは作れません。

3) タイムコード設定

TIME CODE の外部 TC/内部 TC モードを切り替えます。

内部 TC モードの場合に、INTERNAL/FREERUN/REC RUN を切り替えます。

FREERUN/REC RUN の場合に、ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り変えます。

FREERUN/REC RUN の場合の PRESET TIME を設定します。

「USER MENU⇒TIME CODE⇒・・・」から設定して下さい。

<FREERUN/REC RUN の PRESET 方法>

「USER MENU 2⇒TIME CODE⇒PRESET TIME」から設定します。

数字が表示されているところに、任意の TC を入力し(入力方法は、前頁をご覧ください。)、 “SET” にプロンプトを合わせて SET キーを押下します。

<Internal の PRESET 方法>

INTERNAL モードの TC は、本機内部時計 (REAL TIME CLOCK) を使用しています。従って、内部時計の年月日と時刻で変更 (プリセット) します。

「ADMIN MENU⇒SYSTEM 1⇒DATE TIME」から VDRH の内部時計を設定します。

「USER MENU 2⇒TIME CODE⇒TIME CODE MODE」を、“Internal” に設定します。

(先に “Internal” になっていた場合、一度別のモードを選択 (プロンプトを合わせて SET 押下) した後、再度 “Internal” に設定して下さい。)

この時計は、ログの時間としても使用していますので、本体の設置直後に設定し、その後は、変更されないことを推奨します。

4) HD-OSD 表示設定

MONI OUT に表示される内容を設定します。

表示 CH (EACH/BOTH) の切り替えや、大きさ、位置などもこのメニューから設定します。

「USER MENU⇒SYSTEM⇒HD OSD DISPLAY #」から設定して下さい。

5) SYSTEM PHASE の設定

SYSTEM PHASE をライン単位・クロック単位で調整できます。

「USER MENU 1⇒PB MODE 1⇒SYSTEM PAHSE」から設定して下さい。

6) コンプレス

シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

「USER MENU⇒DISK⇒DELETE SELECT」から、不要なシーンを選択します。

リストから、REW/F.FWD (カーソル左右移動)・REC/PLAY (カーソル上下移動) でシーン No. を選択し、SET キーの押下で、DELETE フラグのマーク、マーク解除を行います。フラグを立てると、“D” の表示になります。この D マークのあるシーンが、コンプレスの対象となります。

「USER MENU⇒DISK⇒COMPRESS」を実行すると、不要なシーンが削除され、削除した分の記録可能時間が増えます。

※コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

7) FORMAT

VDRH に記録されている素材を全て削除します。**復旧は出来ません。**

この操作を実施する場合、両 Ch とも停止している必要があります。

「USER MENU⇒DISK⇒FORMAT」を実行して下さい。

8) Cue Up TC の検索方法の変更

422 コントローラなどから、Goto TC をする場合に、指定した TC を、
『先頭から (FROM FIRST) 検索するか』
『最後に再生した (Current) シーンから検索するか』を設定します。
「ADMIN MENU→MODE→CUE UP SCENE」で設定できます。

“FROM FIRST” に設定している時、同 TC が複数のシーンに存在する場合、一番シーン番号の小さいものに Cue Up されます。

9) 422 からの STOP 動作の設定

422 コントローラから PB STOP/REC STOP の操作を行った時の動作を、次のように設定することが出来ます。

REC STOP について：

STOP (停止する)

IGNORE (操作を無視する)

PB STOP について：

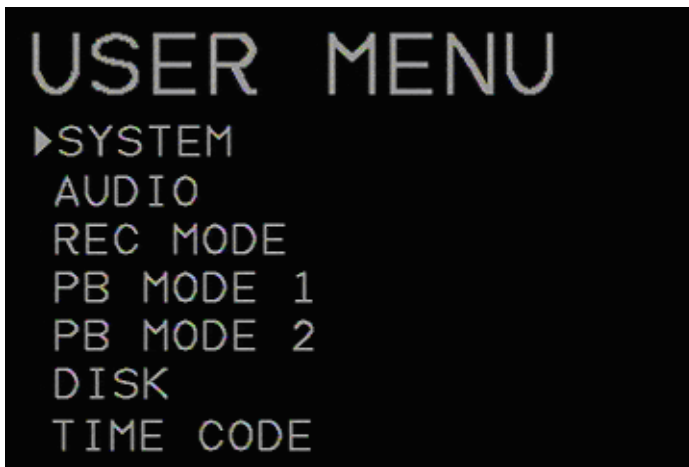
STILL (一時停止)

STOP (停止する)

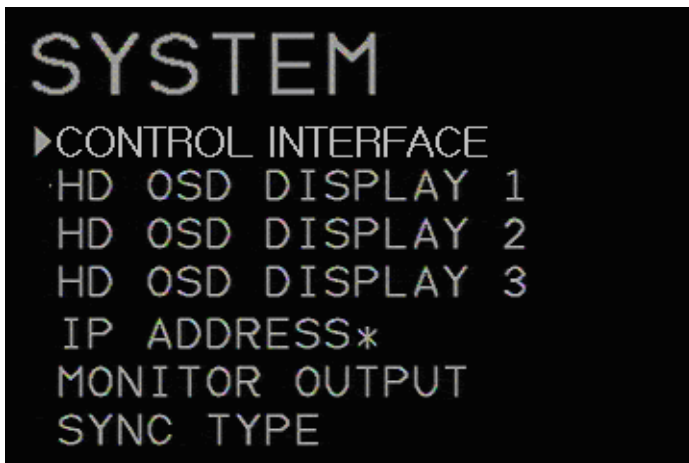
「USER MENU→REC MODE→RS422 REC STOP」 「USER MENU→PB MODE1→RS422 PB STOP」 から設定できます。

5.) USER MENU 1

●MAIN MENU から USER MENU1 選択 (プロンプト選択)、SET キー押下で USER MENU1 になります。

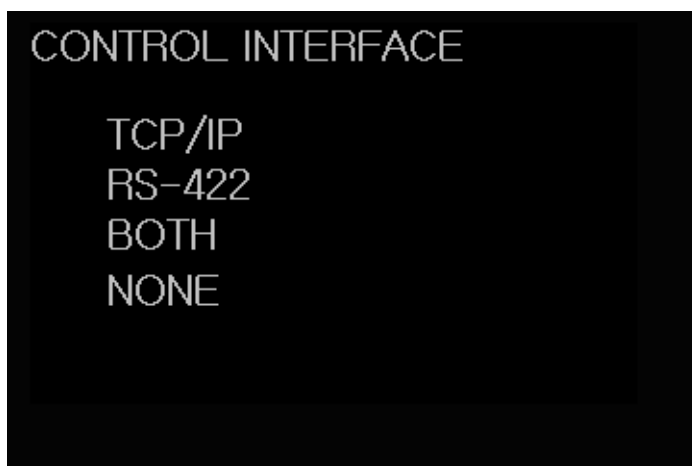


5.) - 1 USER MENU - SYSTEM



5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM - CONTROL INTERFACE

- 外部コントロールに使用するポートを選択できます。



○TCP/IP⇒外部コントロールを Ethernet のみで受け付ける設定です。

○RS-422⇒外部コントロールを RS-422 のみで受け付ける設定です。

○BOTH⇒外部コントロールを Ethernet と RS-422 両方から受け付ける設定です。

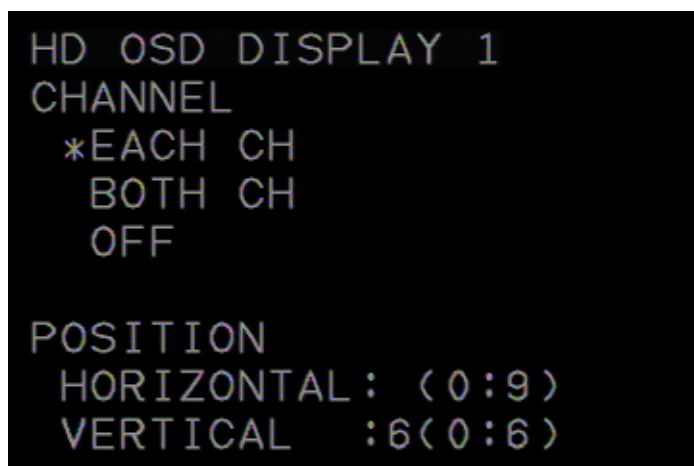
○NONE⇒外部コントロールを使用できません。Ethernet は PING も受け付けません。

後述する「IP ADDRESS」メニューで設定された IP ADDRESS は無視され、設定されません。

※この項目を確定するには、電源の再投入が必要です。

5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM - HD OSD DISPLAY 1

- HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の設定をします。

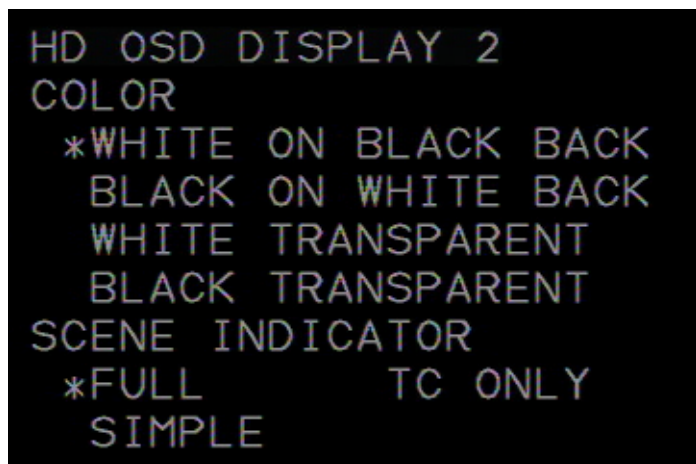


○CHANNEL => 記録、記録再生共、なしの設定です。なしの場合は送出として使用できます。

○POSITION => OSD を出す画面位置を指定します。(0,0)は左上隅です。

5.) - 1. - 3 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 2

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の文字、出力レイアウトを設定します。

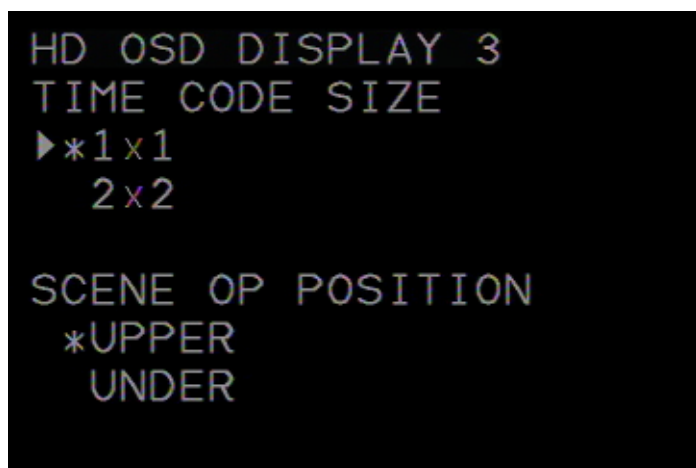


○COLOR => 黒バックに白文字、白バックに黒文字、透過バックで白文字、透過バックで黒文字が選択できます。

○SCENE INDICATOR => 全て、TC のみ、一部だけ表示の選択ができます。

5.) - 1. - 4 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 3

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の TC の文字の大きさと、インジケータの位置を設定します。

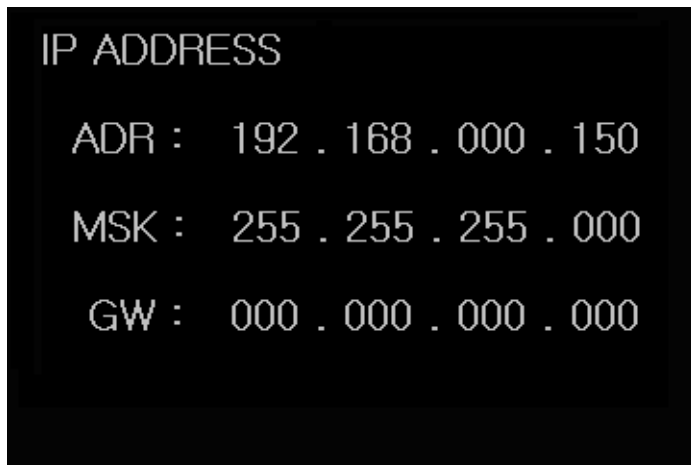


○TIME CODE SIZE => 1×1 : 通常の大きさです。 2×2 : 縦横 2 倍の大きさです。

○SCENE OP POSITION => タイムコードの表示位置の上下を設定します。

5.) - 1. - 5 USER MENU - SYSTEM1 - IP ADDRESS

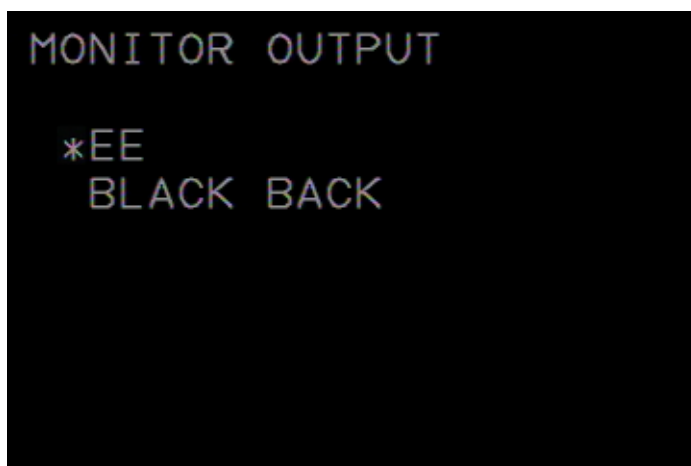
- 本体の IP アドレスを指定します。



- REC キーで数値がインクリメント、PLAY キーで数値がデクリメントします。
- SET キーで確定、MENU キーで MAIN MENU を抜ける時に、電源を OFF するメッセージが表示されます。
- 電源再投入で新しい IP アドレスが有効になります。

5.) - 1. - 6 USER MENU - SYSTEM1 - MONITOR OUTPUT

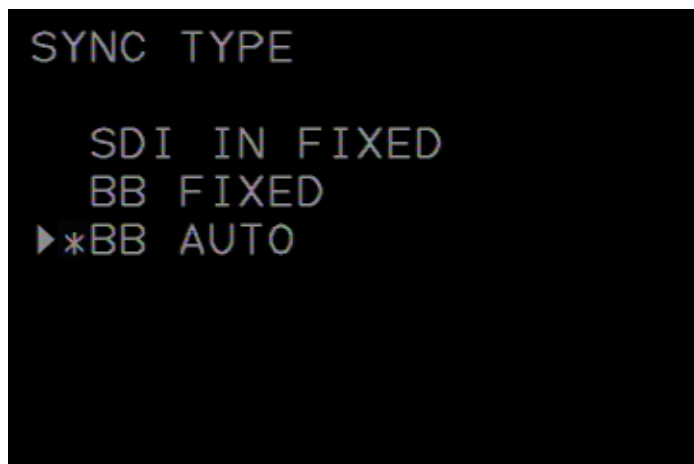
- 本体再生停止時に、HD-SDI OUT に何を出力するかを選択します。



- EE => HD-SDI 入力画像を出力します。
- BLACK BACK => 同相の黒画像を出力します。

5.) - 1. - 7 USER MENU - SYSTEM1 - SYNC TYPE

●外部リファレンスを選択します。



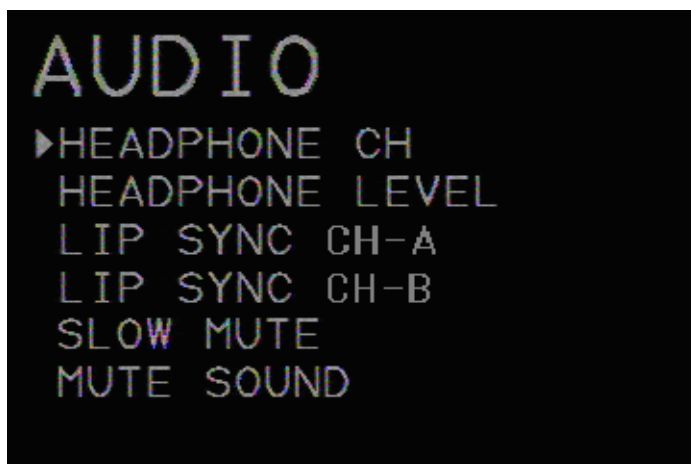
○SDI IN FIXED => 外部同期を持たない機器との接続にお使い下さい。SDI 入力にロックします。

○BB FIXED => BLACK BURST 信号のみにロックします。

○BB AUTO => BLACK BURST→SDI-IN →INTERNAL の順にロックします。

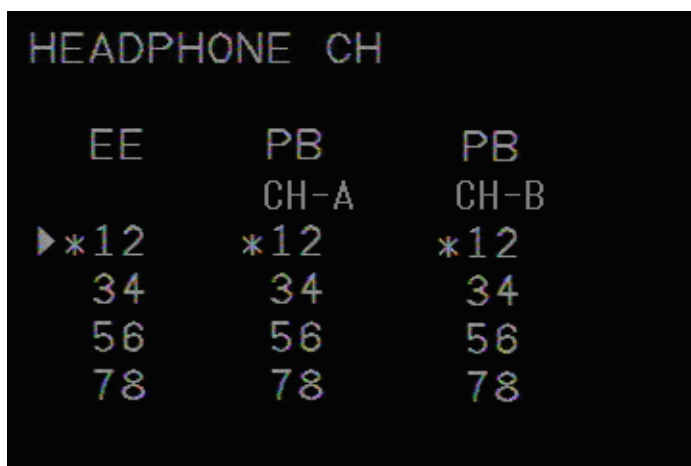
通常はこのモードでお使い下さい。

5.) - 2 USER MENU - AUDIO



5.) - 2. - 1 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE CH

●フロントパネルの PHONE 端子にどの音声を出力するかを設定します。

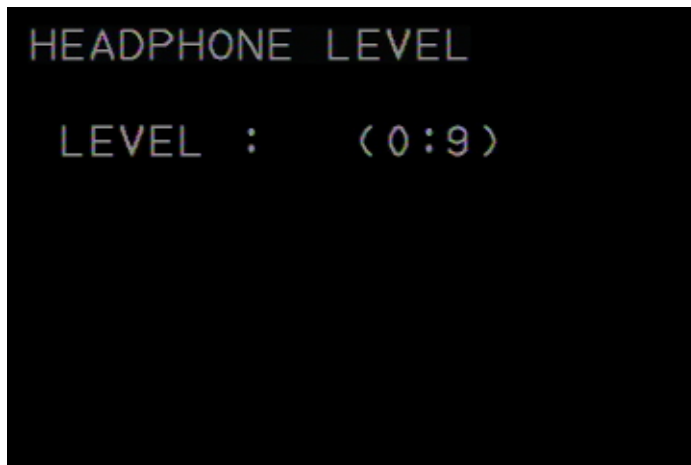


○EE の列 => 再生停止中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

○PB の列 => 再生中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

5.) - 2. - 2 USER MENU - AUDIO - HEADPHONE LEVEL

●HEAD PHONE の出力を設定します。

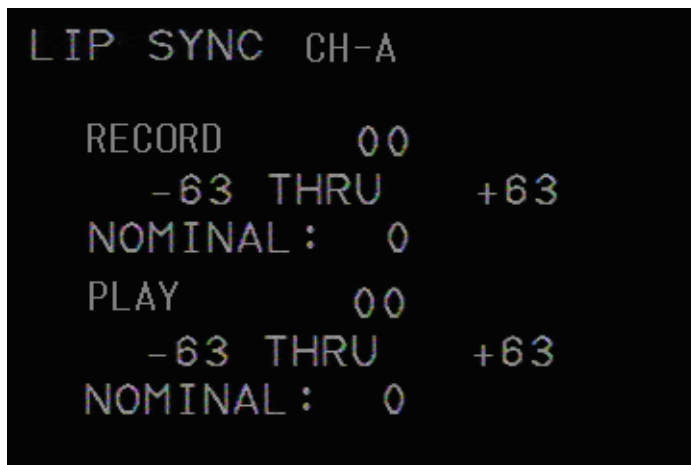


○REC キー(+) PLAY キー(-)で調整します。

※高い数値(5～9)は出力が高いので注意して下さい。

5.) - 2. - 3 USER MENU - AUDIO - LIP SYNC CH-A / LIP SYNC CH-B

●映像と音声の再生時間を調整します。

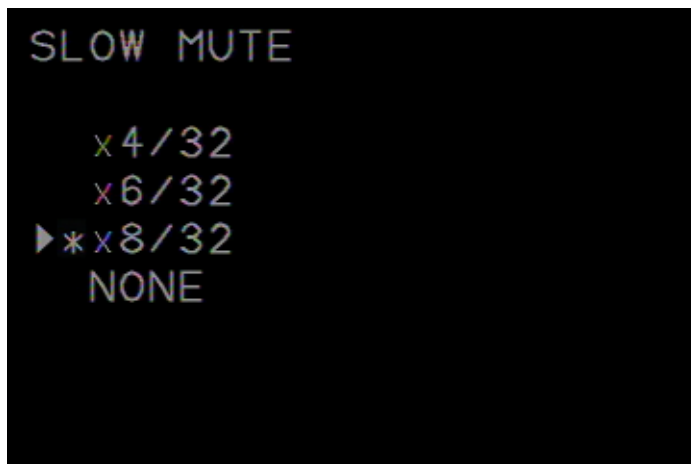


※CH-B は、PLAY 側のみ

○設定単位はフィールドです。1 フィールドは約 16.6msec です。

5.) - 2. - 4 USER MENU - AUDIO - SLOW MUTE

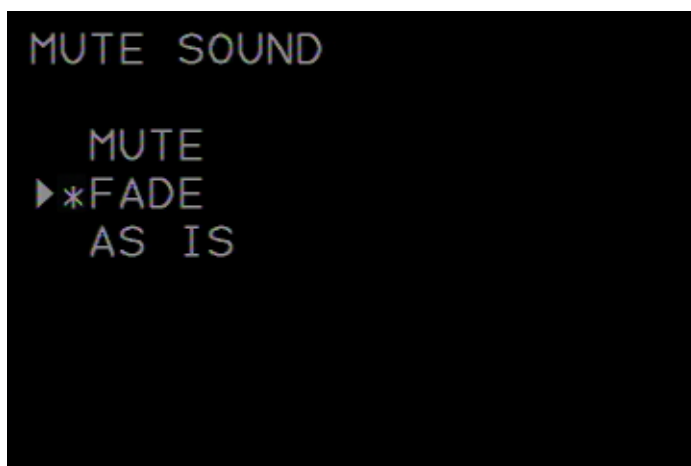
- スロー再生時、設定速度以下の場合音声を MUTE します。



- 上記設定例では、8/32 (1/4) 倍速以下の場合音声は、無音になります。
- MUTE しない場合に、NONE にして下さい。

5.) - 2. - 5 USER MENU - AUDIO - MUTE SOUND

- スロー再生時、音声の立ち上がりを指定します。



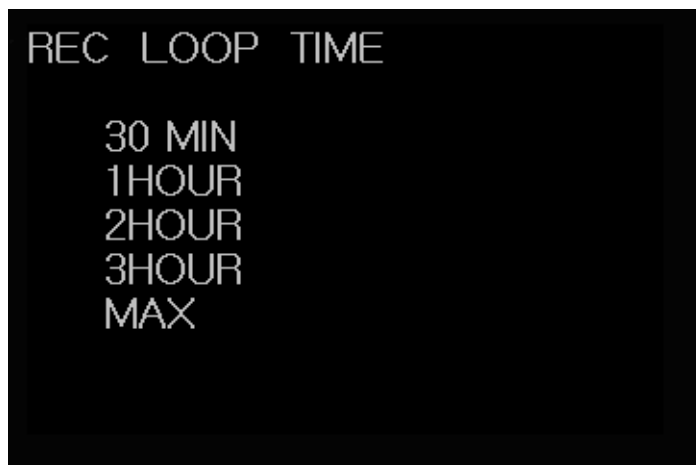
- MUTE => 立ち上がりを MUTE します。
- FADE => 立ち上がりを FADE します。
- AS IS => 加工せずにそのまま出力します。

5.) - 3 USER MENU - REC MODE



5.) - 3. - 1 USER MENU - REC MODE - REC LOOP TIME

●ループ録画の折り返し時間を設定します。

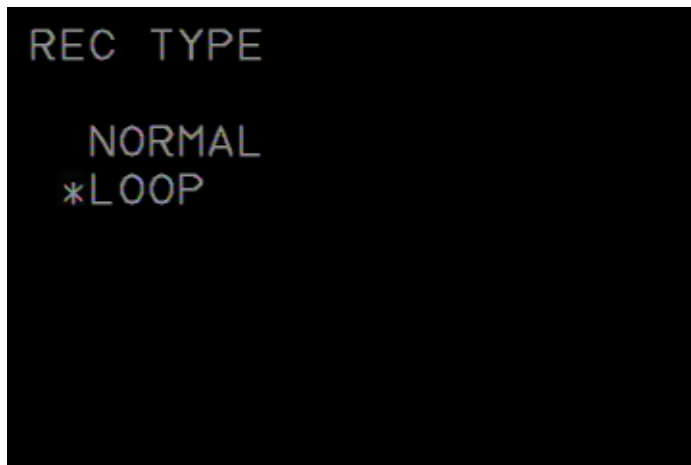


○任意の時間を選択してください。

○VDRH-9000EX で MAX に設定した場合に、ディスク残量が 24 時間以上ある場合でも、24 時間で Loop します。

5.) - 3. - 2 USER MENU - REC MODE - REC TYPE

●これから録画するシーンの録画属性を設定します。

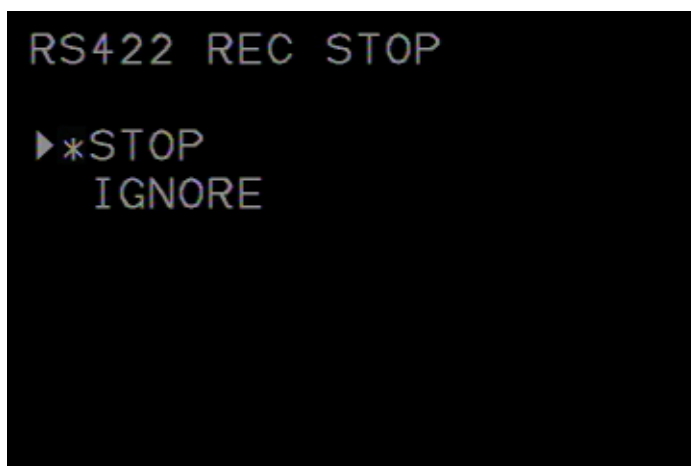


○NORMAL => 通常シーン。始点～終点まで。

○LOOP => REC LOOP TIME で指定された時間でループ録画をします。

5.) - 3. - 3 USER MENU - REC MODE - RS422 REC STOP

●コントローラからの STOP 命令を評価するかどうかの設定です。

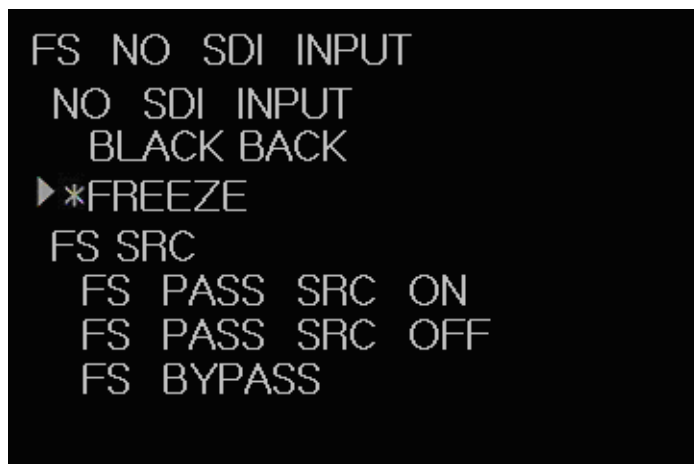


○STOP => 422-1 にコントローラが接続されていて、STOP 命令がきた場合録画を停止します。

○IGNORE => 422-1 にコントローラが接続されていて、STOP 命令がきた場合録画を停止しません。

5.) - 3. - 4 USER MENU - REC MODE - FS NO SDI INPUT

●入力信号を確認するかを指定します。



NO SDI INPUT では、FS 搭載機種で SDI が無入力になった場合の FS 出力を選択します。

BLACK BACK . . . 黒画像を出力します

FREEZE . . . 無入力になる直前の画像をホールドして出力します。

FS SRC では、FS や SRC (サンプリングレートコンバータ) の BYPASS 設定が出来ます。

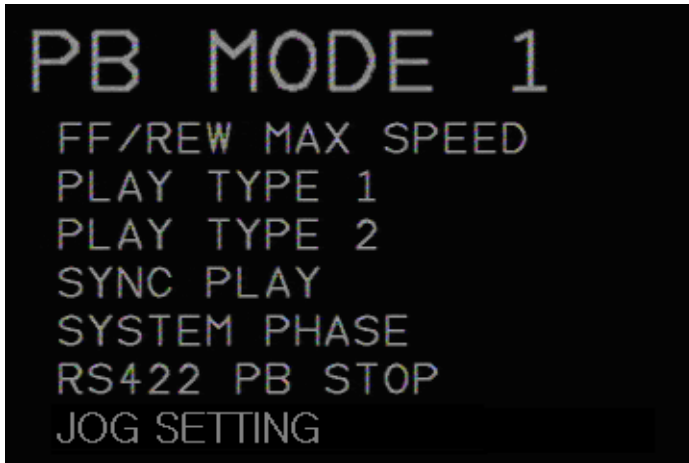
FS PASS SRC ON . . . FS/SRC とも機能します。

FS PASS SRC OFF . . . FS は機能しますが、SRC は機能しません。

FS BYPASS . . . FS/SRC とも機能しません。非同期信号の記録は出来ません。

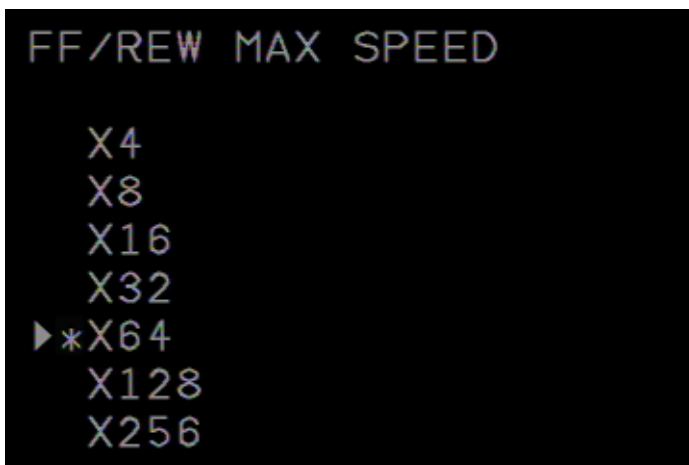
※DOLBY-E 信号を使用する場合は、SRC が機能しないいずれかの設定でご使用下さい。

5.) - 4 USER MENU -PB MODE 1



5.) - 4. - 1 USER MENU - PB MODE 1 - FF/REW MAX SPEED

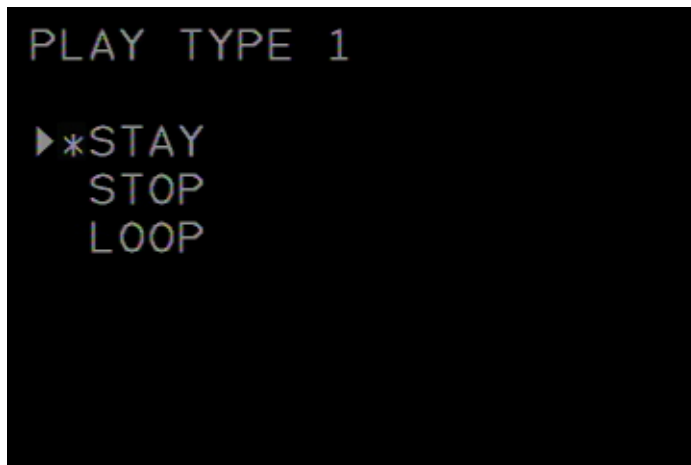
●コントローラから FF REW 命令がきた場合、速度をいくらにするかの設定です。



○ディスクシステムでは、高速の早送り、巻き戻しが可能です。

5.) - 4. - 2 USER MENU - PB MODE 1 - PLAY TYPE 1

●シーン再生時、終端での動作を指定します。



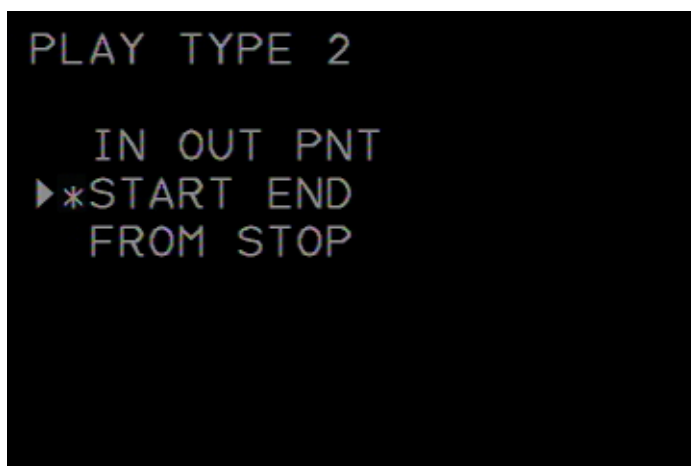
○STAY => STILL します。

○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

○LOOP => シーンの始めに戻ってシームレスに再生します。

5.) - 4. - 3 USER MENU - PB MODE 1 - PLAY TYPE 2

●シーンの再生開始・終了点を指定します。



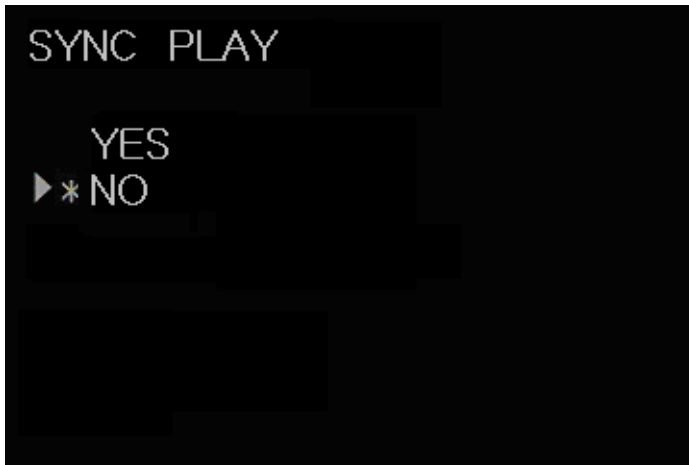
○IN OUT PNT => IN 点から OUT 点までを再生します。

○START END => シーン開始点からシーン終了点までを再生します。

○FROM STOP => 前回再生停止した地点から再生開始します。

5.) - 4. - 4 USER MENU - PB MODE 1 - SYNC PLAY

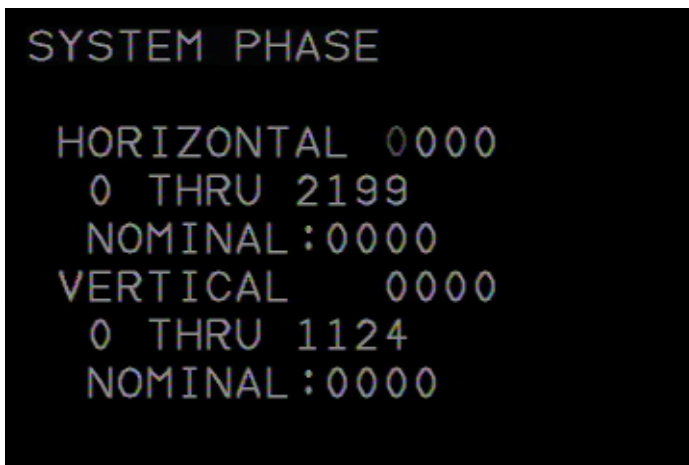
- Aチャンネル側でPLAYしたときに、Bチャンネルも同時に再生を開始（2チャンネル同期再生）する設定ができます。



- 同期再生を行う際には、Aチャンネル／Bチャンネル共に、再生したいシーンの指定フレームを呼び出しておく必要があります。

5.) - 4. - 5 USER MENU - PB MODE 1 - SYSTEM PHASE

- システムフェーズの設定です。

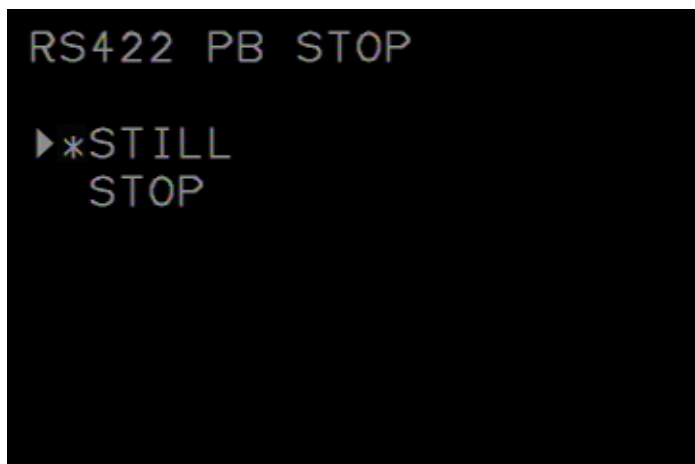


- HORIZONTAL => 水平方向のフェーズを調整します。単位はクロックです。

- VERTICAL => 垂直方向のフェーズを調整します。単位はラインです。

5.) - 4. - 6 USER MENU - PB MODE 1 - RS422 PB STOP

●422-2(再生チャンネル)で STOP 命令を受けた時の動作設定です。

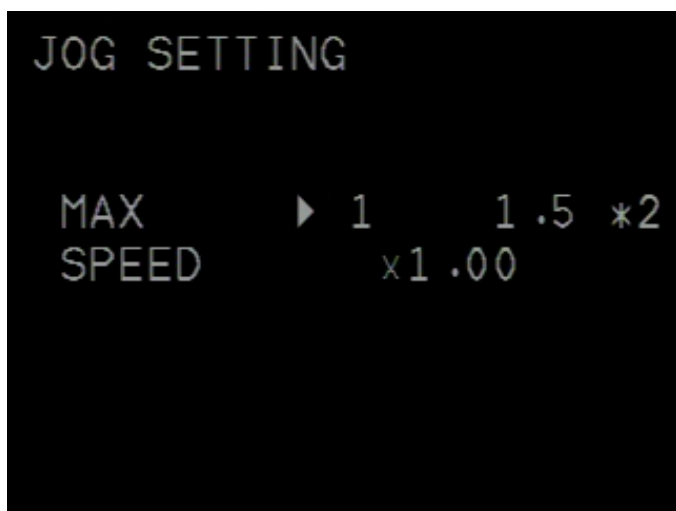


○STILL => 静止状態になります。

○STOP =>停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

5.) - 4. - 7 USER MENU - PB MODE 1 - JOG SETTING

●ジョグ・スピードの最大値と速度倍率を設定します。

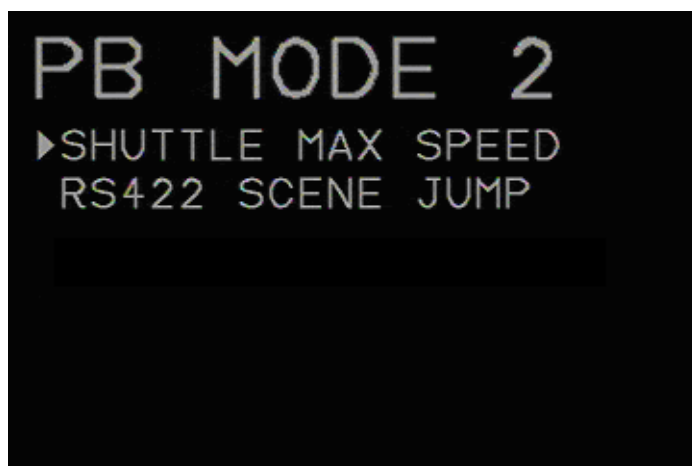


○MAX => コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

○SPEED => コントローラから送られるジョグのスピードに倍率をかけます。

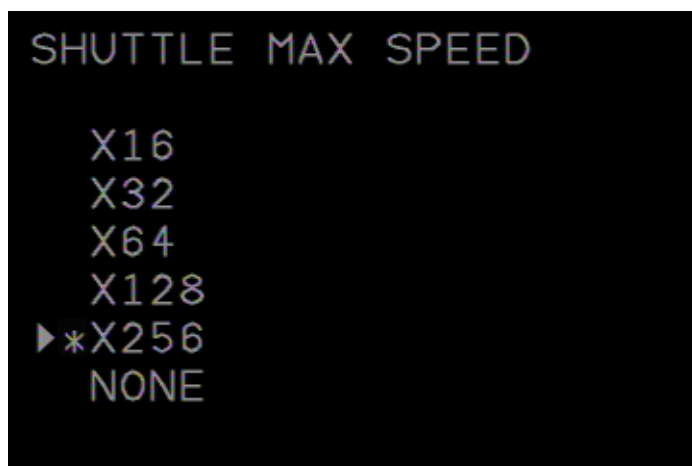
設定範囲は、x0.3～x9.0 です

5.) - 5 USER MENU1 - PB MODE 2



5.) - 5. - 1 USER MENU - PB MODE 2 - SHUTTLE MAX SPEED

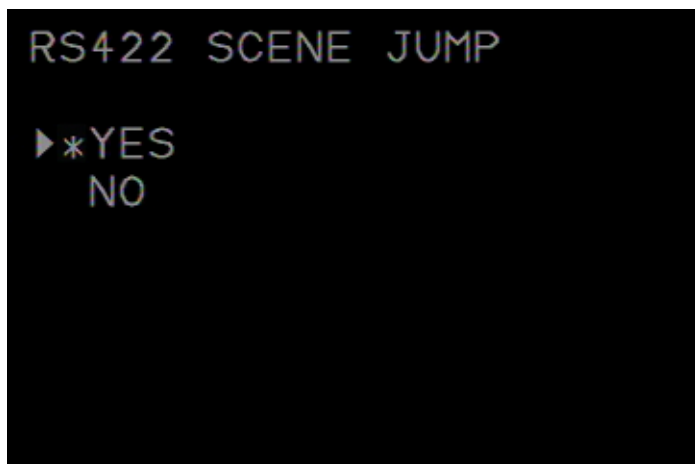
●シャトル操作での最大スピードを設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

5.) - 5. - 2 USER MENU - PB MODE 2 - RS422 SCENE JUMP

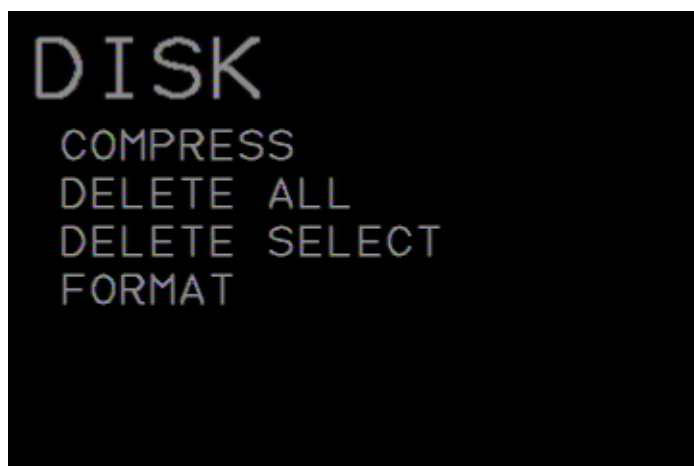
●シーン始点で REW、シーン終点で FF を受けた時にシーン移動を許可するかどうかの設定です。



○YES => 使用します。シーン始点で REW を受けると一つ前のシーンの先頭に、シーン終点で FF をうけると次のシーンの先頭に移動(STILL)します。

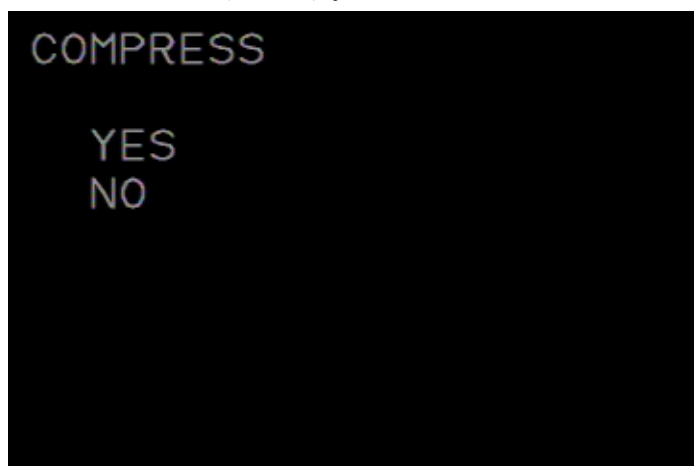
○NO => 使用しません。

5.) - 6 USER MENU - DISK



5.) - 6. - 1 USER MENU - DISK - COMPRESS

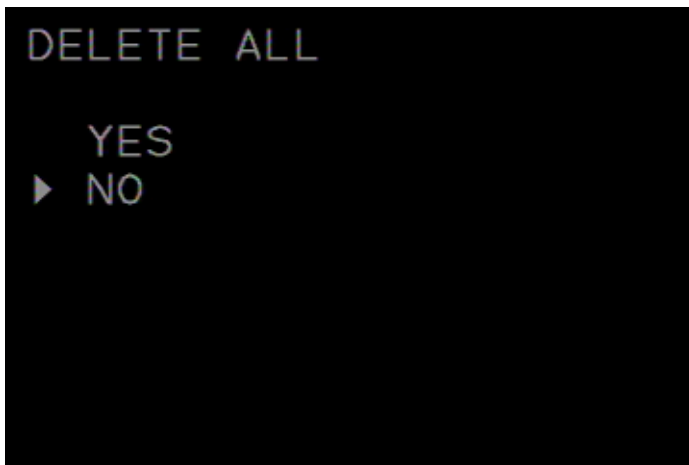
●コンプレスを実行します。



○コンプレスには、移動するシーンの実記録時間の 80%程度の時間を要します。

5.) - 6. - 2 USER MENU - DISK - DELETE ALL

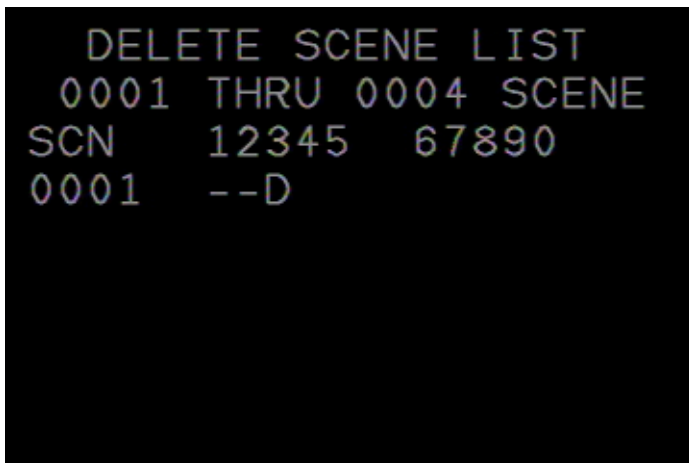
- 現在記録している全てのシーンにデリートマークを付けます。



- 全てのシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。
- 本操作後、DELETE SELECT でデリートマークの解除が行えます。

5.) - 6. - 3 USER MENU - DISK - DELETE SELECT

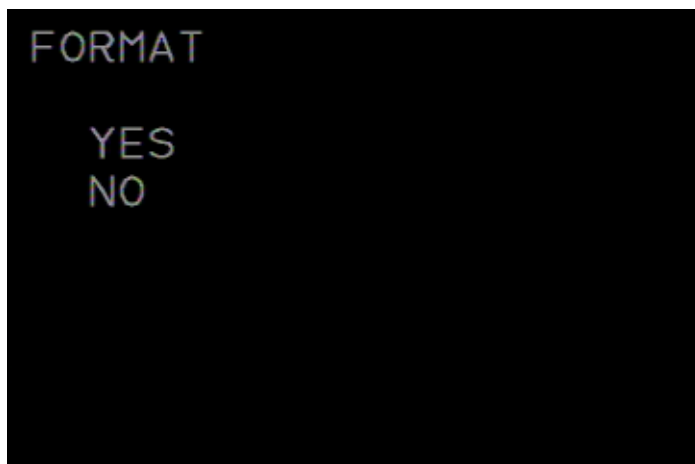
- 記録されている任意のシーンにデリートマークを付けます。



- REW/F. FWD(カーソル左右移動)・REC/PLAY(カーソル上下移動)でシーンの選択をします。
- SET キー押下でマーク、マーク解除を行います。
- 任意のシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。

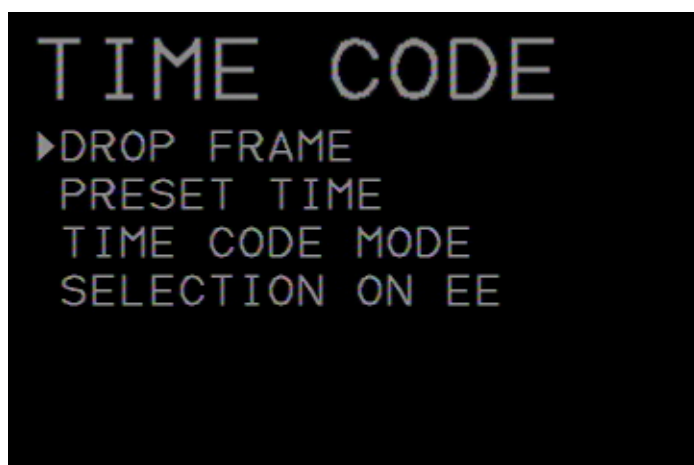
5.) - 6. - 4 USER MENU - DISK - FORMAT

●ディスクをフォーマットします。全ての記録は消去されます。



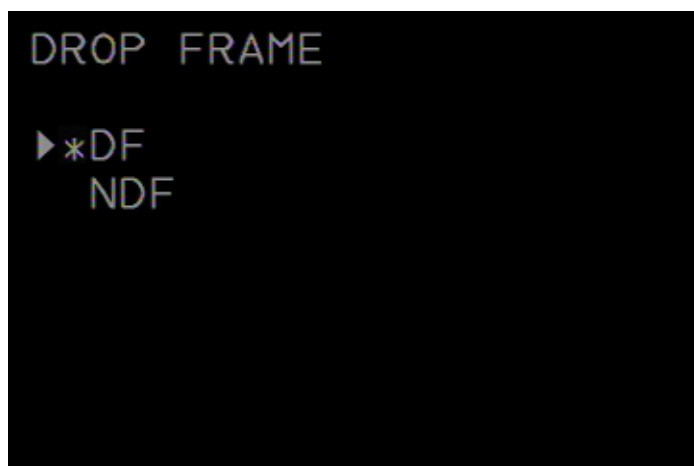
○全ての記録が消去されます。操作は慎重に行ってください。

5.) - 7 USER MENU - TIME CODE



5.) - 7. - 1 USER MENU - TIME CODE - DROP FRAME

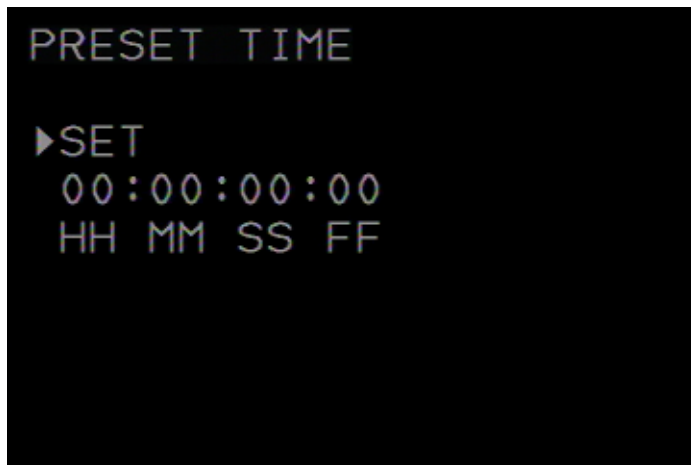
●DROP FRAME 、NNONDROP FRAME の設定を行います。



○設定に基づいて、タイムコードが記録されます。

5.) - 7. - 2 USER MENU - TIME CODE - PRESET TIME

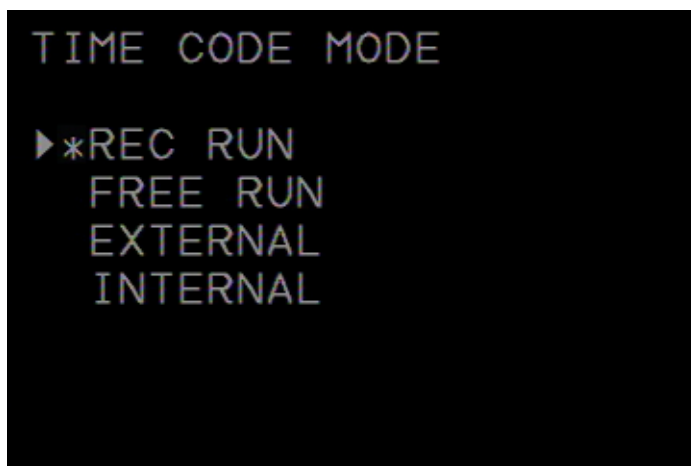
- タイムコードをプリセット（強制的に設定値にする）します。



- TIME CODE MODE が、FREE RUN、REC RUN の場合に有効です。

5.) - 7. - 3 USER MENU - TIME CODE - TIME CODE MODE

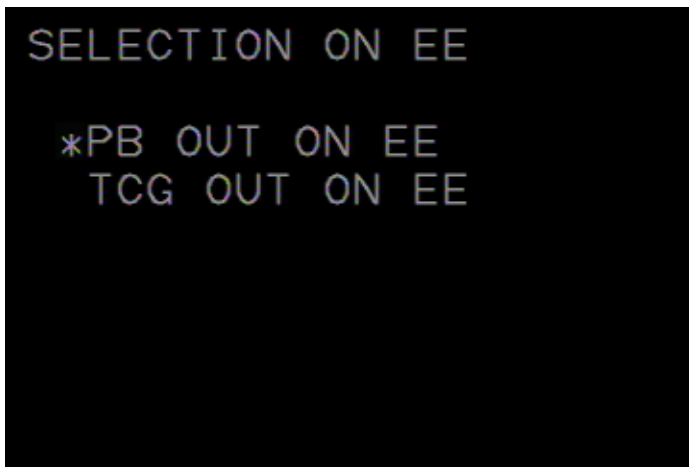
- タイムコードモードを選択します。



- REC RUN => プリセット値から、記録している場合のみ積算カウントします。
- FREE RUN => プリセット値から、積算カウントします。記録していない時もカウントします。
- EXTERNAL => 外部タイムコードを使用します。
- INTERNAL => 本体内蔵のリアルタイムクロックを使用します。

5.) - 7. - 4 USER MENU - TIME CODE - SELECTION ON EE

●EE 画面(入力があつて、再生が停止している時)TIME CODE に何を出すかの設定。

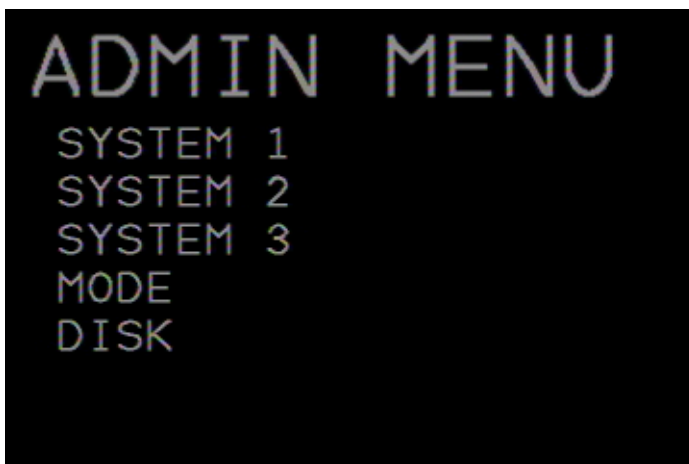


○PB OUT ON EE => 再生のタイムコードが出力されます。

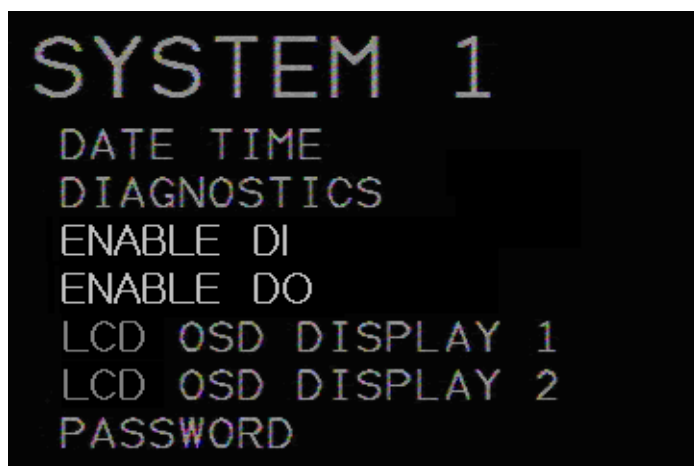
○TCG OUT ON EE => 入力されているタイムコードが出力されます。

6.) ADMIN MENU

●アドミニストレータ（管理者）専用メニューです。

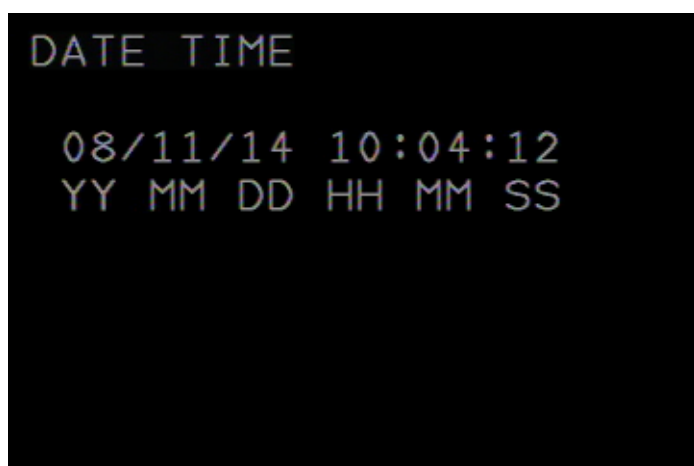


6.) - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1



6.) - 1. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME

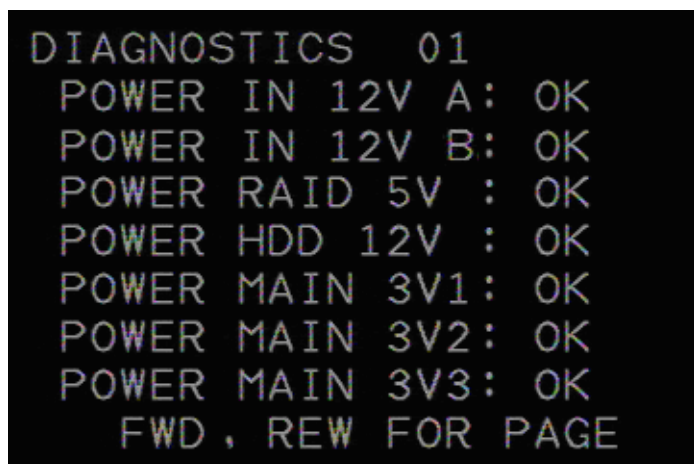
●内蔵リアルタイムクロックを合わせます。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-です。

6.) - 1. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS

●自己診断の結果表示です。



○電圧、温度、ハードウェアの装着状態、ディスク状態などが表示されます。

6.) - 1. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DI

●GPI IN の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト)

DI 端子を使用しない設定です。

A : PLAY B : PLAY

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

B : PLAY B : STILL

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STILL します。

B : PLAY B : STOP

DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが PLAY します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、B チャンネルが STOP します。

A : REC A : REC STOP

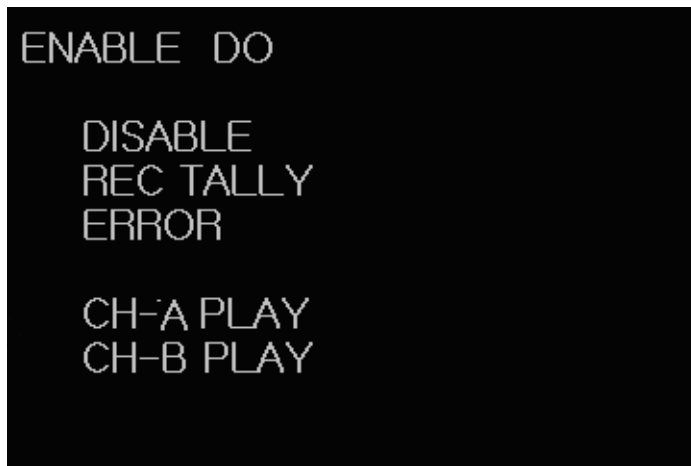
DI-1 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルが REC START します。

DI-2 端子を、メーク (ON) した時に、A チャンネルの REC STOP します。

※VDRH-9000 では、DI-1 しか持っていない。

6.) - 1. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM1 - ENABLE DO

●GPI OUT の動作設定をします。



DISABLE : (デフォルト)

D0 端子を使用しない設定です。

REC TALLY :

録画を開始したときに D0 端子が ON になり、録画を停止したときに D0 端子が OFF になる設定です。

ERROR :

VDRH-9000 シリーズ内部で何らかのエラーが発生した際に、ON になる設定ですが、現バージョンでは実装されていません。

CH-A PLAY :

Ach が PLAY の時 ON します。

CH-B PLAY :

Bch が PLAY の時 ON します。

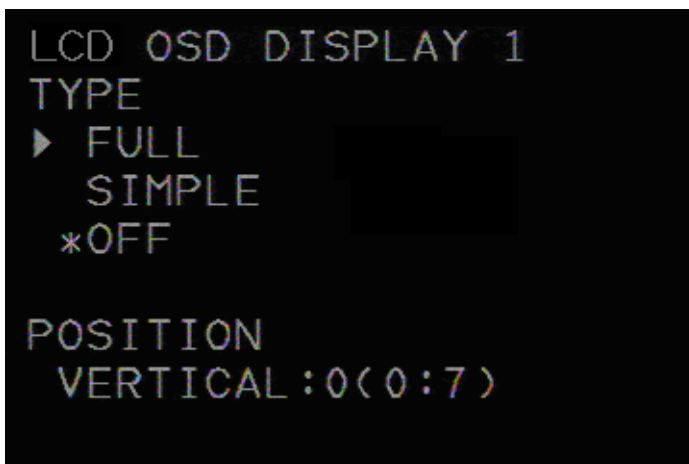
6.) - 1. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの明るさを設定します。



6.) - 1. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 1

●フロントLCDの表示設定です。



○TYPE FULL => 全ての情報を表示します。

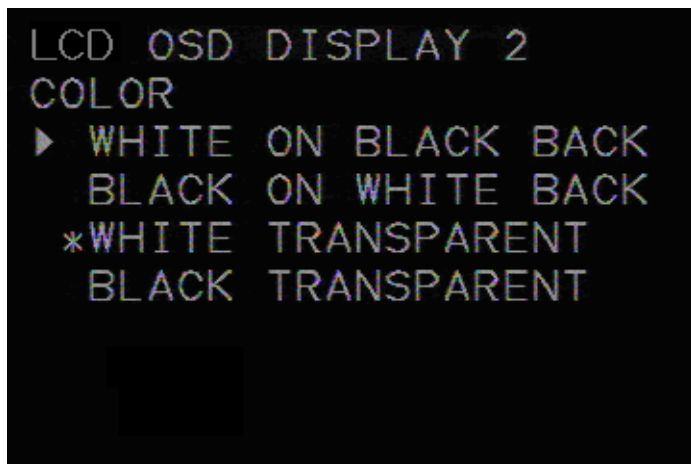
○TYPE SIMPLAE => 再生状態、現在の選択シーン、タイムコードのみ表示します。

○TYPE OFF => 何も表示しません。

○POSITION => 垂直表示位置を調整します。

6.) - 1. - 7 ADMIN MENU - SYSTEM1 - LCD OSD DISPLAY 2

●フロントLCDの表示文字の設定です。



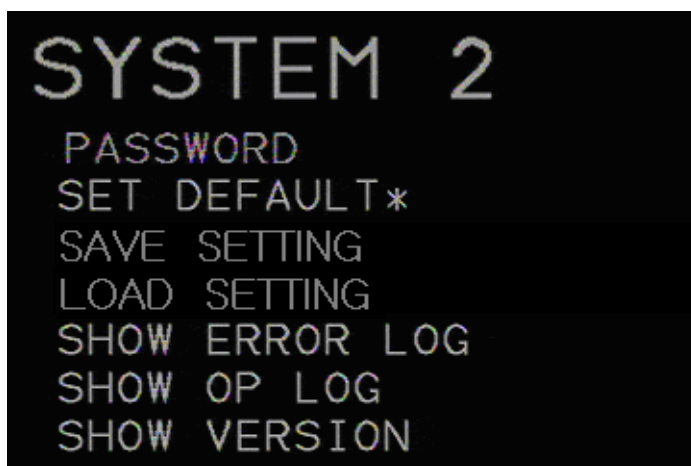
○WHITE ON BLACK BACK => 黒バックに白文字

○BLACK ON WHITE BACK => 白バックに黒文字

○WHITE TRANSPARENT => 白透過文字

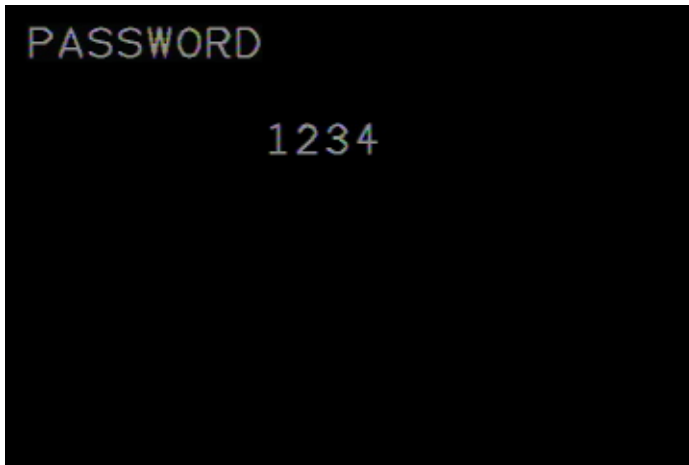
○BLACK TRANSPARENT => 黒透過文字

6.) - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2



6.) - 2. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM2 - PASSWORD

●TCP/IP でアプリケーションと通信をする場合のパスワードを設定します。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-

6.) - 2. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SAVE SETTING

●本体のメニュー設定を保存しておきます。3 件まで登録できます。



○保存する番号を選択して、SET キーを押す。

6.) - 2. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM2 - LOAD SETTING

- 「SAVE SETTING」で保存した本体のメニューを呼び出します。

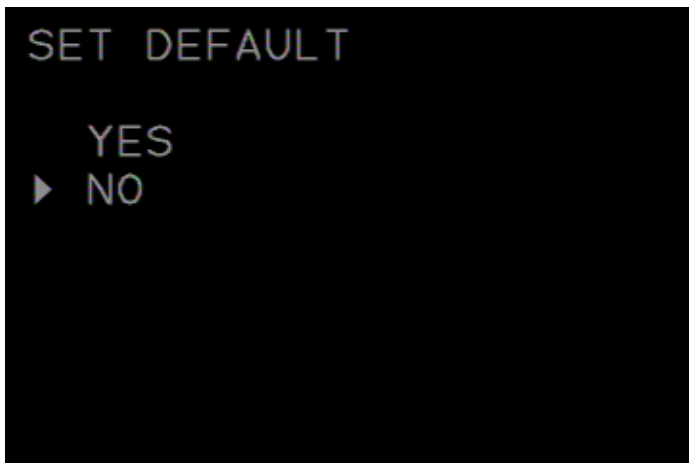


○呼び出したい番号を選択して、SET キーを押す。

○選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 2. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT

- 工場出荷時設定に戻します。記録された映像はそのままです。



○選択後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 2. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG

●エラーログを表示します。

```
SHOW ERROR LOG NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSJJNNNN
081114 093313 03040015
081111 150948 03040015
081111 150948 03040015
081108 153358 03040027
081108 153358 03040026
081108 120130 02040007
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

○発生日、発生時刻、エラー内容の順に表示します。

○エラー内容については、別紙エラーコード表・エラー対応表を参照して下さい。

6.) - 2. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG

●オペレーションログを表示します。

```
SHOW OP LOG      NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSCC00II
081114 100553 01043048
081114 100545 01043047
081114 100534 01043046
081114 100521 01043045
081114 100508 01043038
081114 100502 01043038
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

○操作日、操作時刻、操作内容の順に表示します。

○メンテナンス用です。

6.) - 2. - 7 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION

●ファームウェアのバージョンを表示します。

```
SHOW VERSION
CPU1:Dec1108 11:52:18
CPU2:Nov2608 10:59:29
CPU3:1.20.003
0202 153B FFFF 015B
0016 0016 105A 002A
FFFF 015B 0016 0016
105A FFFF FFFF 018A
HIT CUE KEY TO EXIT
```

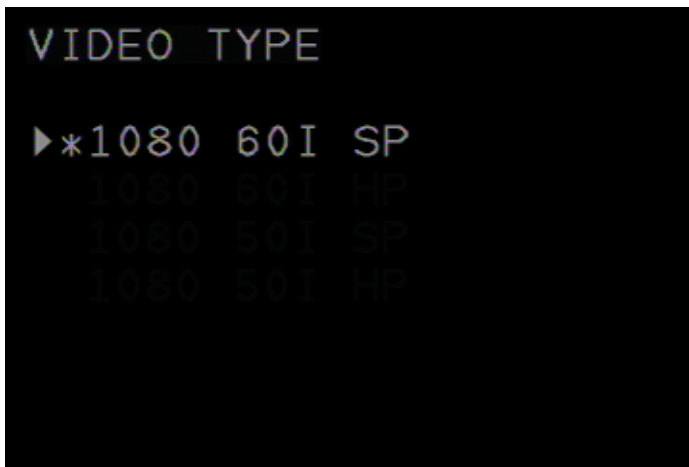
○メンテナンス専用です。

6.) - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3

```
SYSTEM 3
VIDEO TYPE*
CLEAR LOG*
DEVICE TYPE
DOWNLOAD*
RECOVERY SETTING
ALWAYS ADMIN
```

6.) - 3. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM3 - VIDEO TYPE

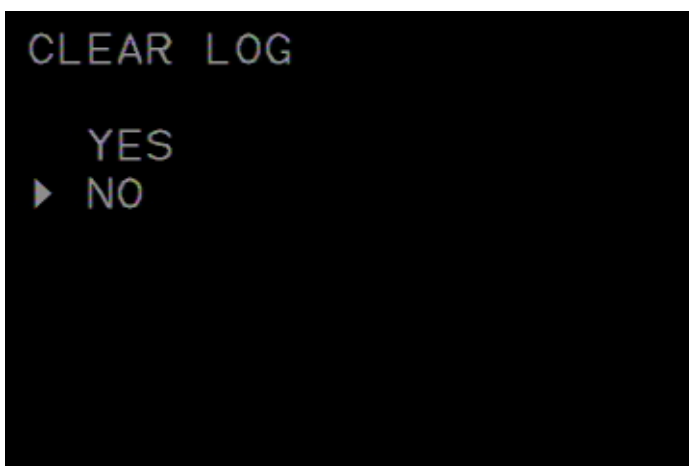
●ビデオタイプを選択します。



○1080/60i (59.94i)が選択されています。

6.) - 3. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG

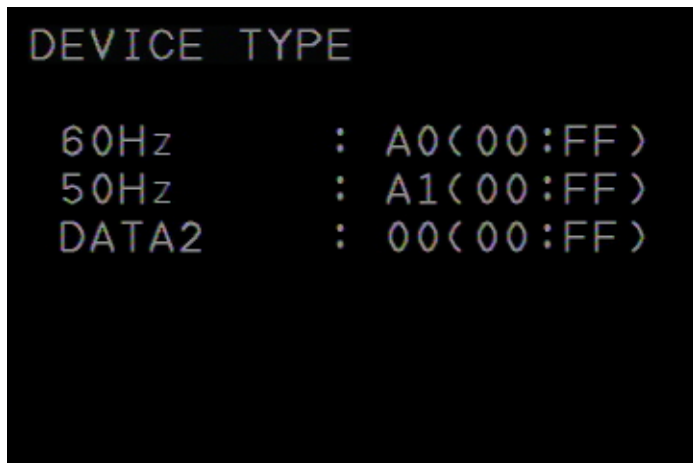
●エラーログ、オペレーションログをクリアします。



○クリア後は、電源の再投入が必要です。

6.) - 3. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE

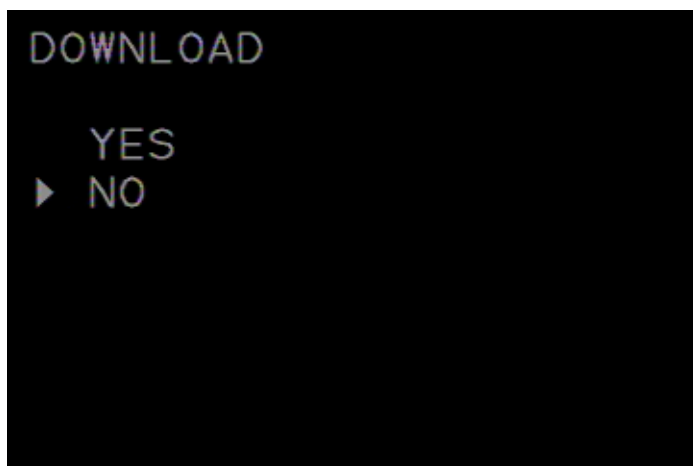
●SONY 製コントローラが認識する、本機のデバイスタイプを指定します。



○最適化されています。ビデオレコーダの設定にすると、本機的能力を損なうことがあります。

6.) - 3. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD

●ファームウェアをイーサネットから更新します。

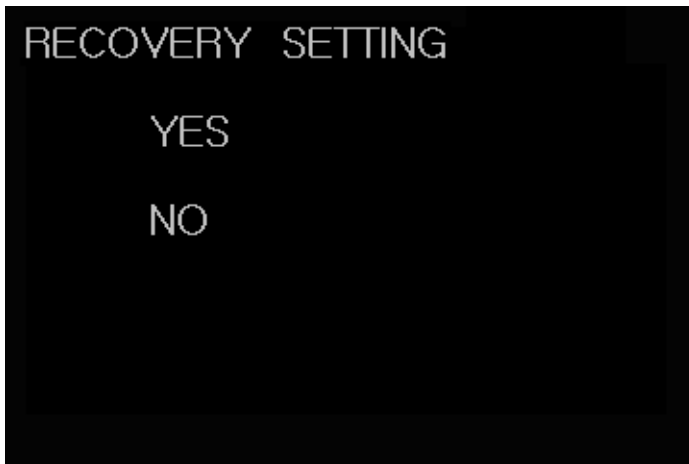


○専用ソフトウェアが必要です。

○メンテナンス専用です。

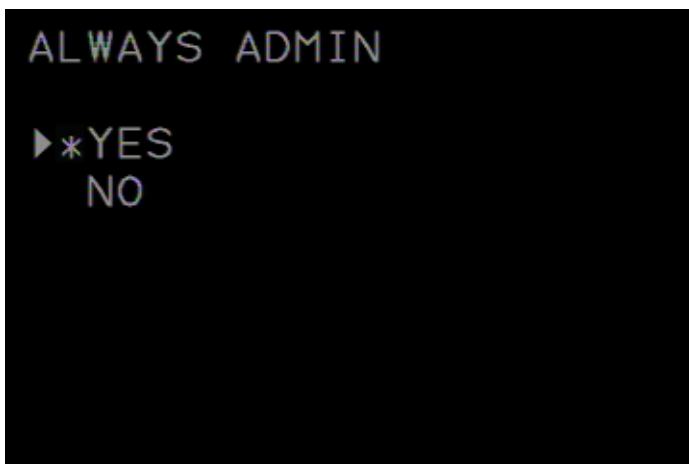
6.) - 3. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM3 - RECOVERY SETTING

- 「SAVE SETTING」に保存した設定を初期化し、現在の設定についても「SET DEFAULT」を行ないます。



6.) - 3. - 6 ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN

- 立ち上げ時に任意のボタンの3つ押しで ADMIN メニューが出現します。
- 呼び出し操作を毎回せずに ALWAYS ADMIN が表示されます。

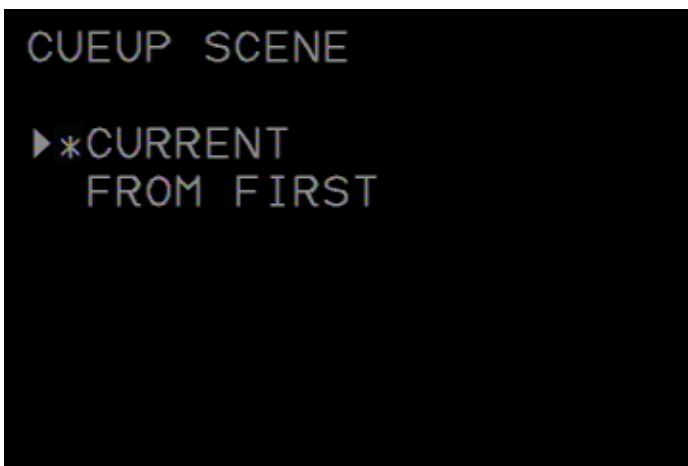


6.) - 4 ADMIN MENU - MODE



6.) - 4. - 1 ADMIN MENU - MODE - CUEUP SCENE

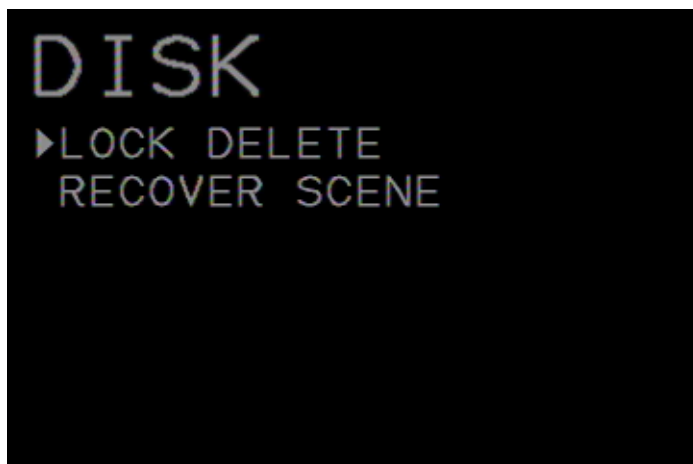
●CUE UP 動作をどのように行うかを指定します。



○CURRENT => 現在再生で選択されているシーンを探して CUE UP します。

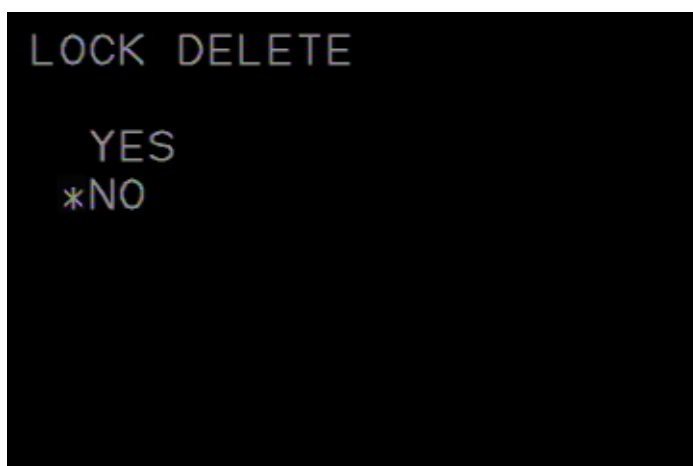
○FROM FIRST => シーン 0001 から該当する TC を探して CUE UP します。最初に見つけた TC で STILL します。

6.) - 5 ADMIN MENU - DISK

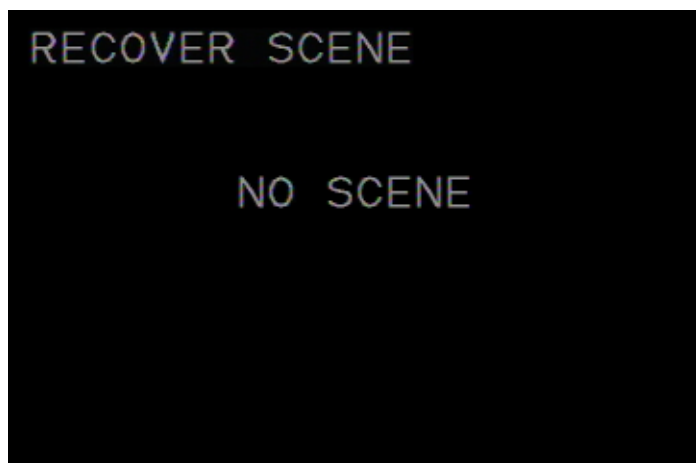


6.) - 5. - 1 ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE

●デリートマークの操作を不能にします。



●再生不能な画像を含むシーンを可能な限り修復します。



○修復する対象シーンは、再生で選択されているシーンとなります。

※全ての場合において、修復できるものではありません。

※削除したシーンを復活させるメニューではありません。

